

令和6年度
群馬県内高校生自転車に関する
意識調査アンケート
実施報告書



TOPIC

一般社団法人

ICTまちづくり共通プラットフォーム推進機構

The Organization for the Promotion of ICT Community development and Common Platform

2024/02/10

Agenda

- ▶ 01 実施背景
- ▶ 02 アンケート対象者
- ▶ 03 回答結果(高校生)
- ▶ 04 回答分析(高校生)
- ▶ 5. 回答結果(保護者)
- ▶ 6. 回答分析(保護者)
- ▶ 7. まとめ・考察

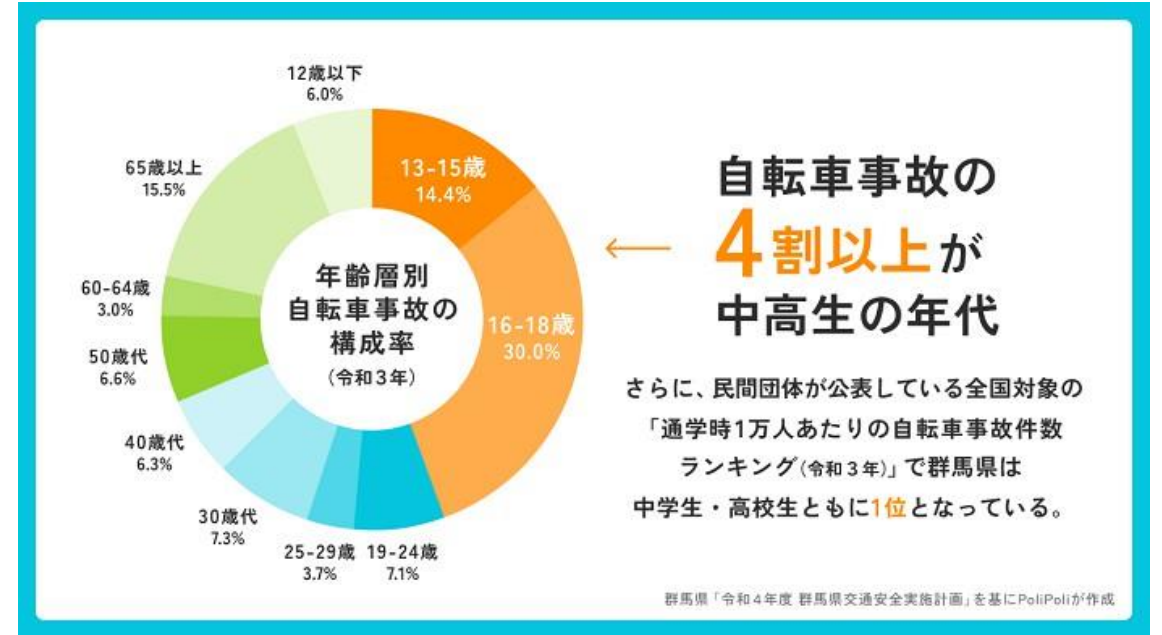
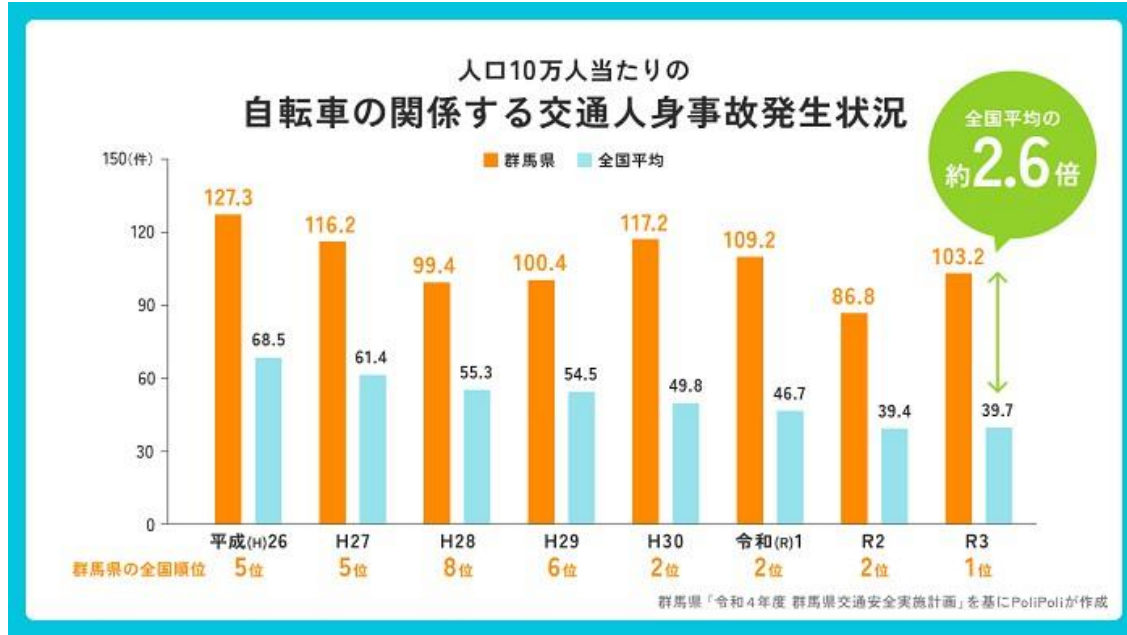
01

实施背景

実施背景

群馬県HPより

<https://www.pref.gunma.jp/page/100055.html>



現在、群馬県の中高生の通学時の自転車事故件数が全国ワースト1位を数年間継続しております。

交通環境の在り方、持続可能な公共交通の有り方という観点から見ても大きな課題であり、解決を目指して、令和5年度デジタル田園都市国家交付金事業において注意喚起サービスを構築いたしました。

群馬県が実施するサイクルサミットにも参加する中で、高校生のリアルな自転車の利用実態、意識、保護者の思いを知ることが今後の取り組みの参考になると考え、この度県内の高校生とその保護者を対象にアンケートを実施させて頂きまして、このアンケート結果をご共有するものとなります。

02

アンケート実施概要

▼ アンケート実施概要

群馬県様、群馬県教育委員会様にご協力いただき、2024年11月に県内の全高校生に向けてアンケート調査を行いました。対象として高校生本人、保護者様、双方に向けて個別に2種類のアンケート調査を実施しております。

なお、アンケートの回答率を少しでも高めようと、案内のチラシも作成し、メール添付にてお配りしております。

① 高校生向けアンケート

実施時期：11/25~12/16

実施方法：メール配信

実施内容：自転車利用に関するもの(28問)

回答件数

9,023件

② 保護者向けアンケート

実施時期：11/25~12/16

実施方法：メール配信

実施内容：自転車利用に関するもの(25問)

回答件数

4,647件

**WEBアンケート
ご協力のお願い**

群馬県の中高生の自転車事故は全国ワースト1位
調査が始まった14年以降、高校生は10年連続ワースト1位

学生・ご家族のみなさまのお声をお聞かせください

通学時の1万人当たりの自転車事故件数順位 (2023年)		高校生	
順位	件数	順位	件数
1位	34.43	1位	108.92
2位	19.70	2位	64.80
3位	18.88	3位	45.64
4位	15.96	4位	44.24
5位	12.07	5位	33.97

自転車事故の削減に向け、様々な取り組みを実施してきましたが、未だワースト1位を脱却するには至っておりません。そこで事故原因の分析のため、学生本人および保護者のみなさまに向けアンケート調査を実施させていただきたいと考えます。悲惨な事故をなくすためにぜひご協力をお願いします。

アンケート要綱

- 調査方法/WEBアンケート
- 対象/群馬県内高校生及びその保護者様
- 実施時期/12月15日(日)までに回答ください

学生用アンケート

保護者様用アンケート

みなさまのご協力をお願いいたします。

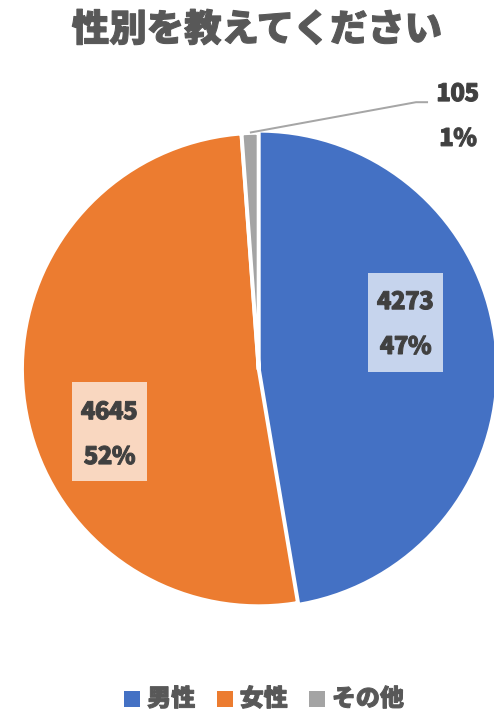
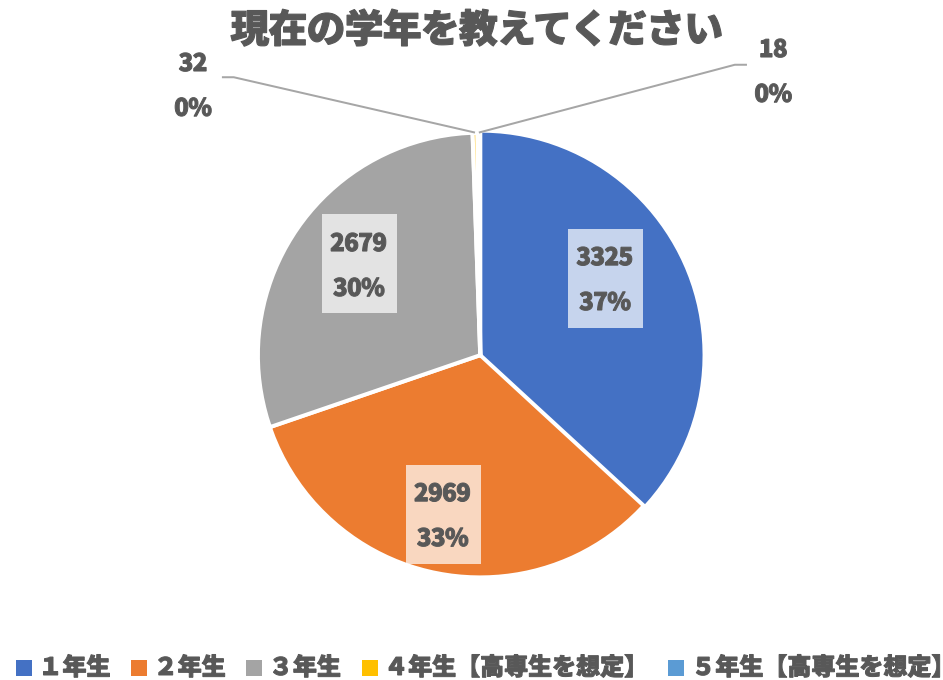
実施 アリテックサイクル株式会社 TOPIC
協力 群馬県、群馬県教育委員会

アンケートに関するお問い合わせはこちらへ
info@topic.or.jp

03

回答結果（高校生）

回答結果（高校生）

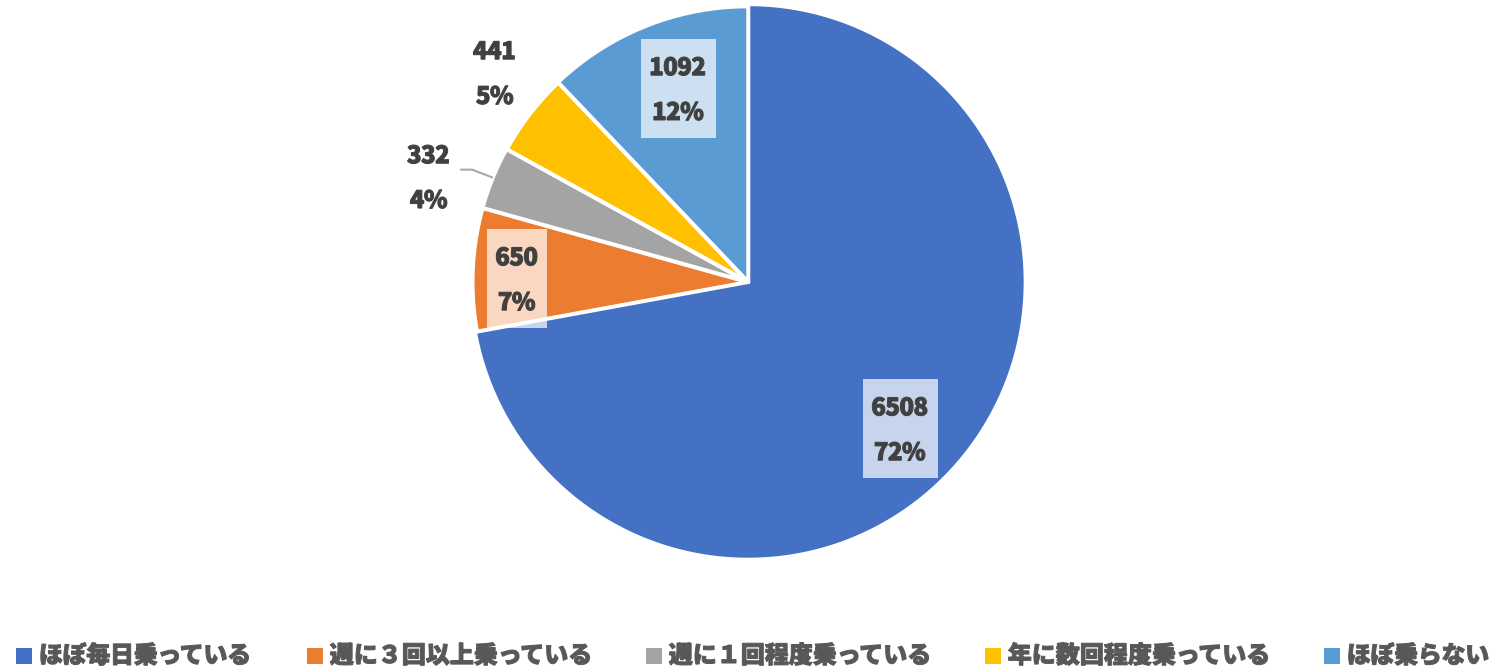


回答者の属性としては上記の通り、高校1～3年生を中心に男女満遍なく回答を頂きました。

なお、50件程度の4年生・5年生については、単位制、定時制、中高一貫制高校の学生様からのご回答となります。

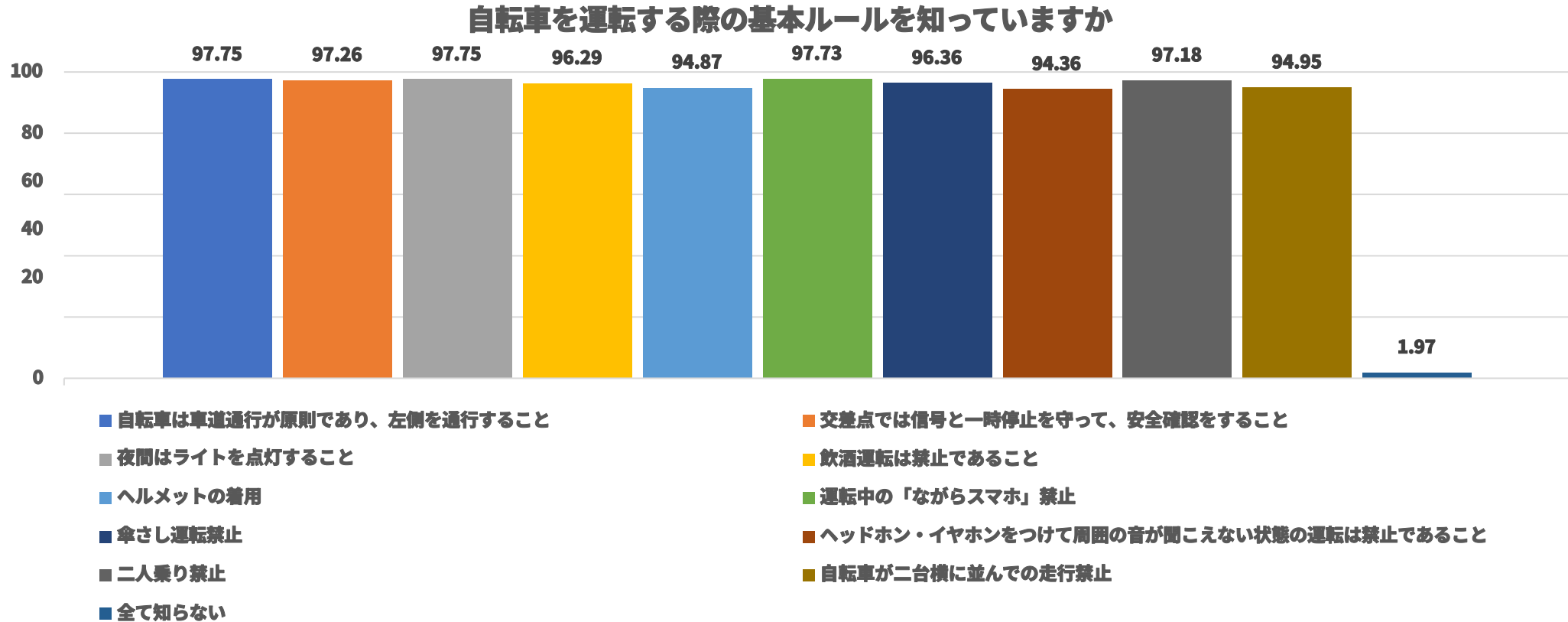
▼ 回答結果（高校生）

自転車に乗る頻度を教えてください



高校生の自転車への乗車頻度としては上記の通り、回答者の70%が「ほぼ毎日乗っている」と回答がありました。次いで「ほぼ乗らない」が12%、「週に3回以上乗っている」が7%と続いております。

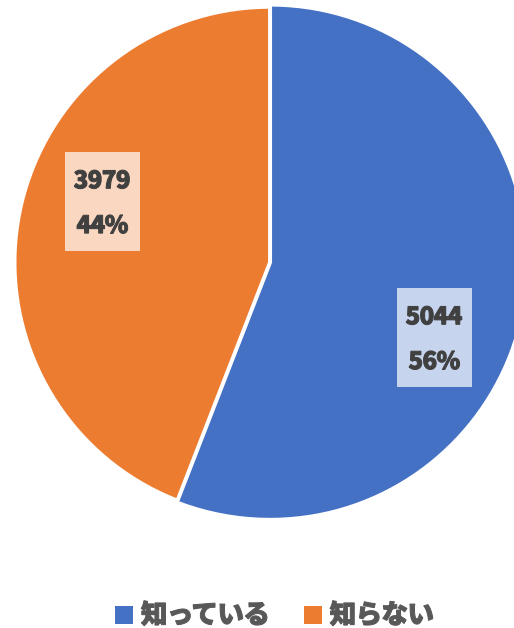
回答結果（高校生）



自転車ルールについての認知度については上記の通りです。全てのルールについて、9割が知っているという回答がありました。最も認知度が高かったのは「車道通行の原則」、最も低かったのは「音が聞こえない状態での運転」となりました。

▼ 回答結果（高校生）

将来的に「交通反則告知書（通称：青切符）」が導入される見込みであり、適用される対象が16歳以上となることを知っていますか

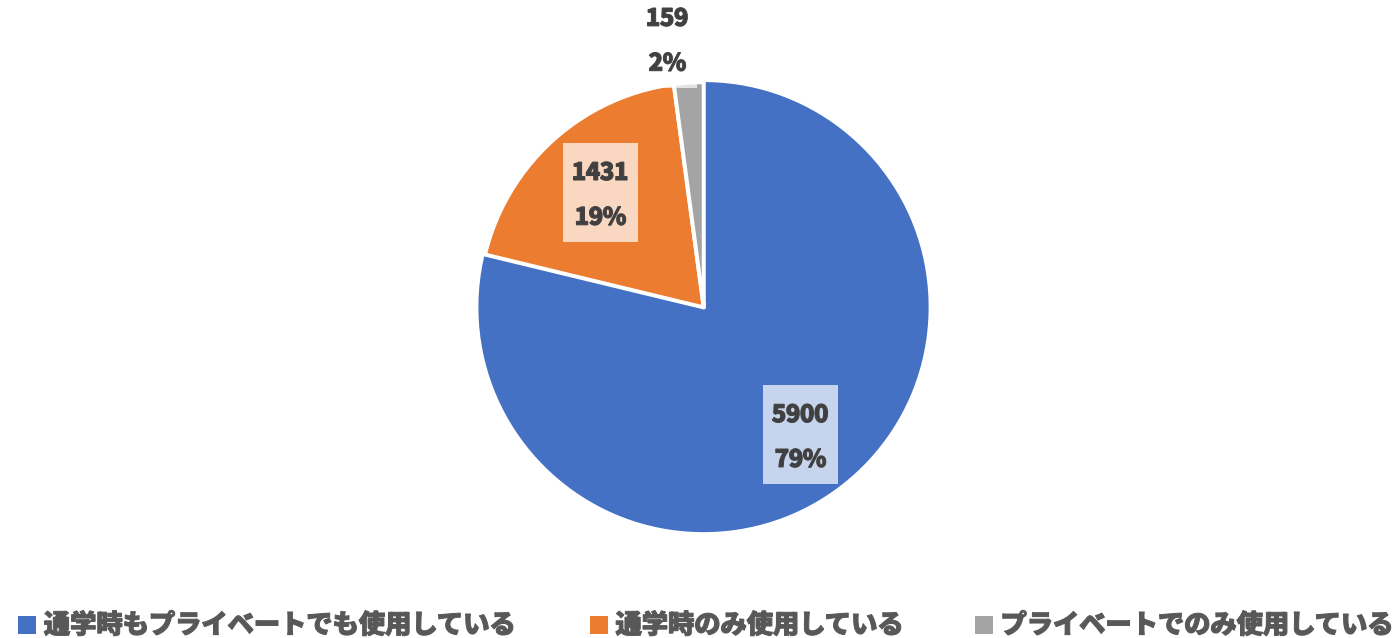


交通反則告知書についての認知度については上記の通りです。

回答が真二つに分かれ、約5000人が知っていた、約4000人が知らないと回答しています。

▼ 回答結果（高校生）

普段からある程度自転車に乗っている方にのみ伺います
自転車の使い方を教えてください

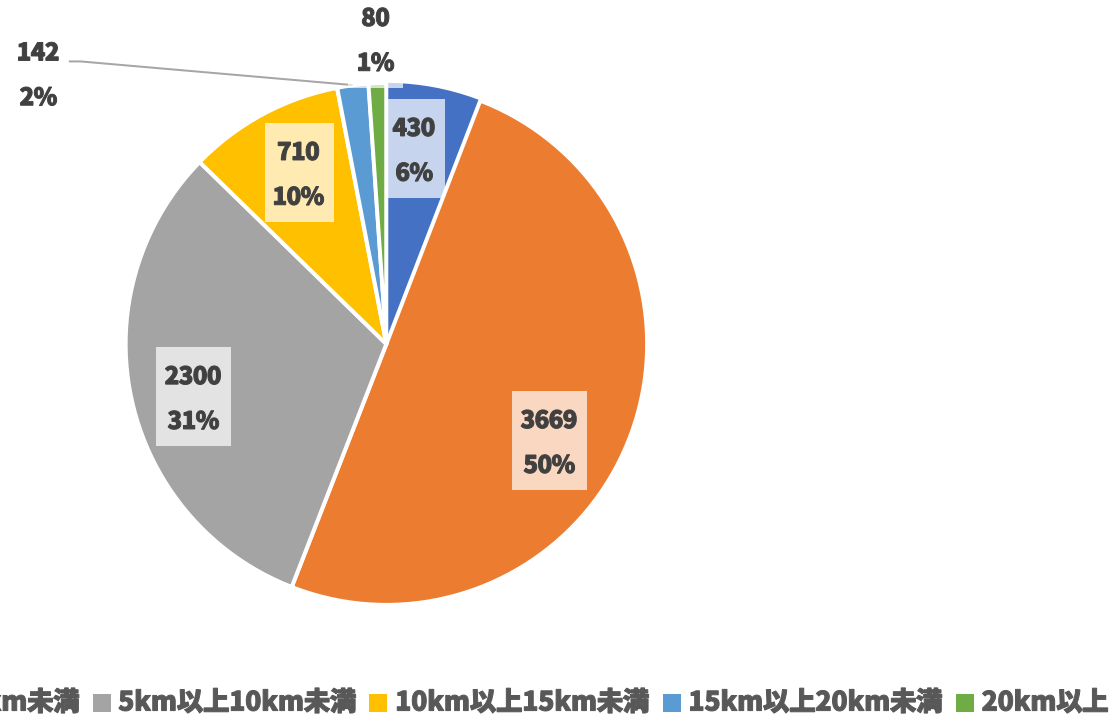


自転車に乗ると回答した高校生を対象に、自転車の使い方について尋ねたところ、約79%が通学・プライベートともに利用していると回答がありました。

通学時のみの利用についても19%あり、自転車利用者の計98%が通学で自転車を用いていることとなります。

▼ 回答結果（高校生）

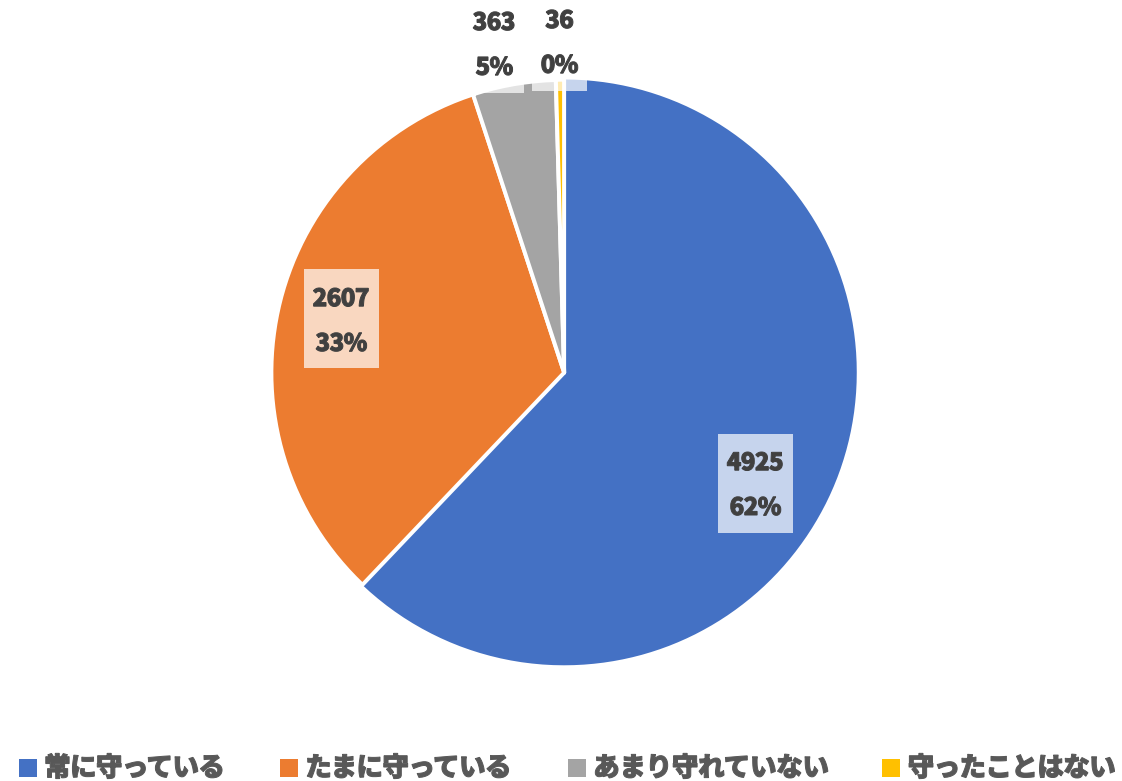
自転車通学をしている方に伺います
自転車通学の距離を教えてください



通学で利用すると回答した高校生を対象に、通学距離を尋ねたところ、1km~5kmがもっとも多く50%、次いで10km未満が31%となり、全体の8割となりました。15km以上との回答は計222件、3%となっています。

▼ 回答結果（高校生）

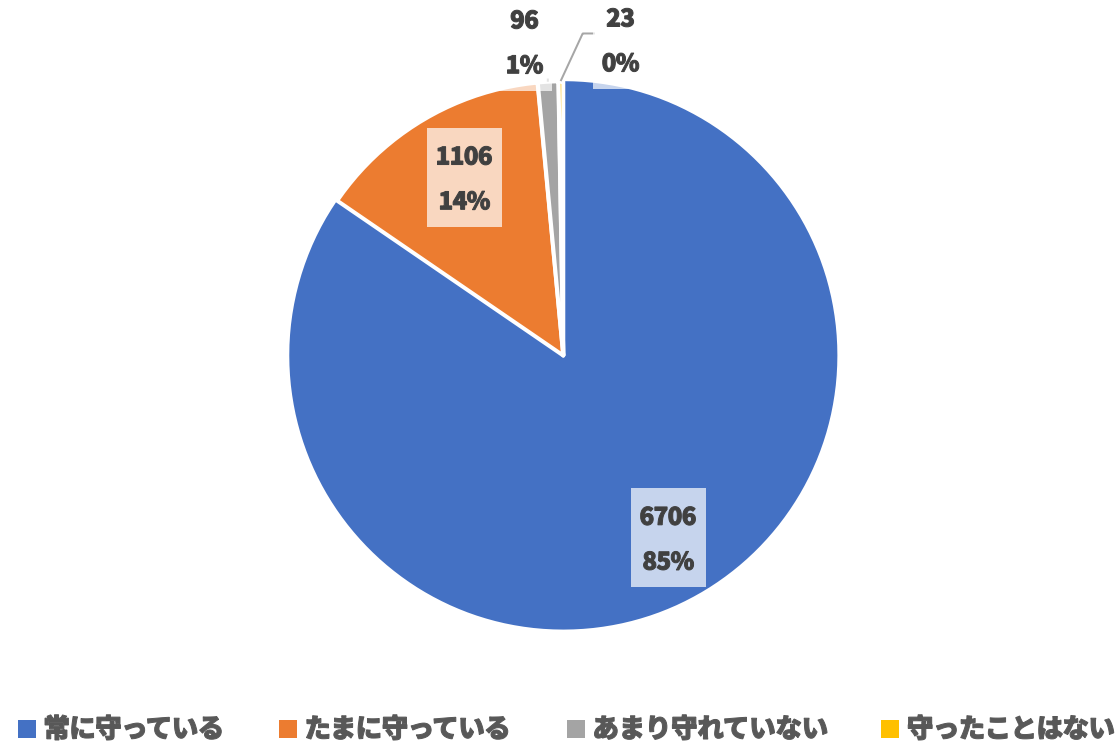
自転車乗車中、車道通行かつ左側を通行を守れていますか



自転車乗車中の走行区分ルールについて尋ねたところ、常に守っている回答が4952人、たまに守っている回答が2607人となり、合わせて95%となりました。

▼ 回答結果（高校生）

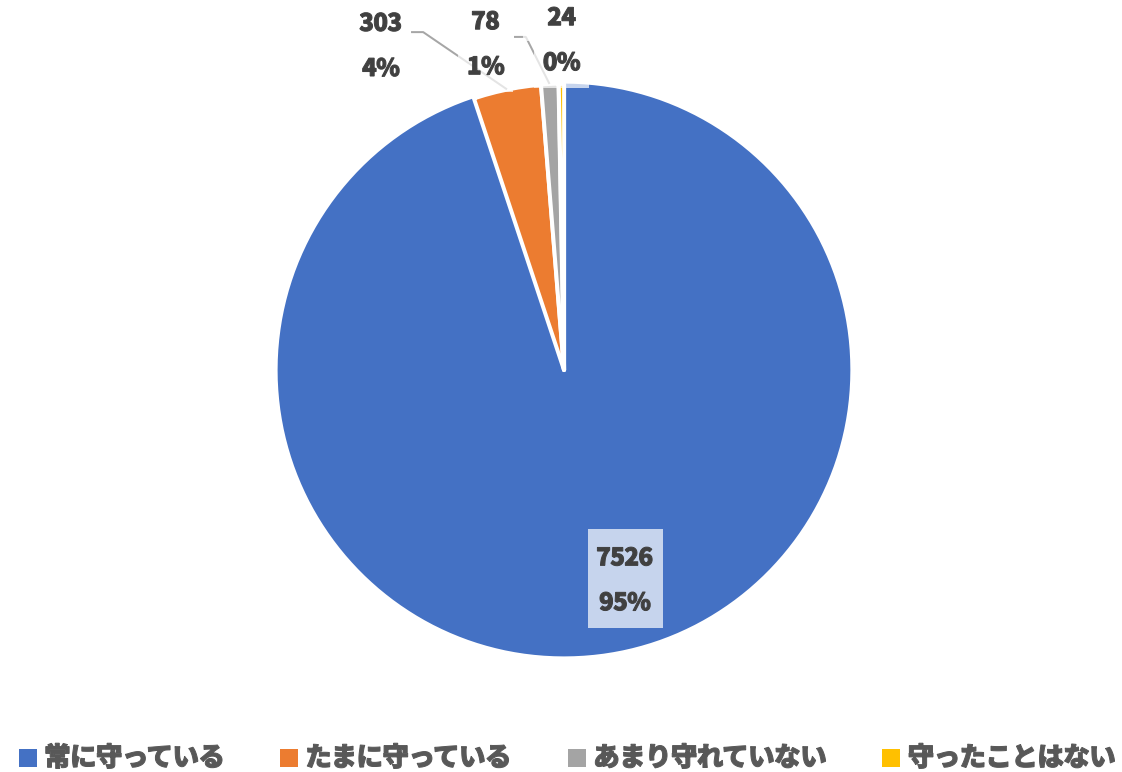
交差点では信号と一時停止をすることを守れていますか



自転車乗車中の交差点と信号での一時停止の状況について尋ねたところ、常に守っている回答が6706人、たまに守っている回答が1106人となりました。合わせると99%を占めています。

▼ 回答結果（高校生）

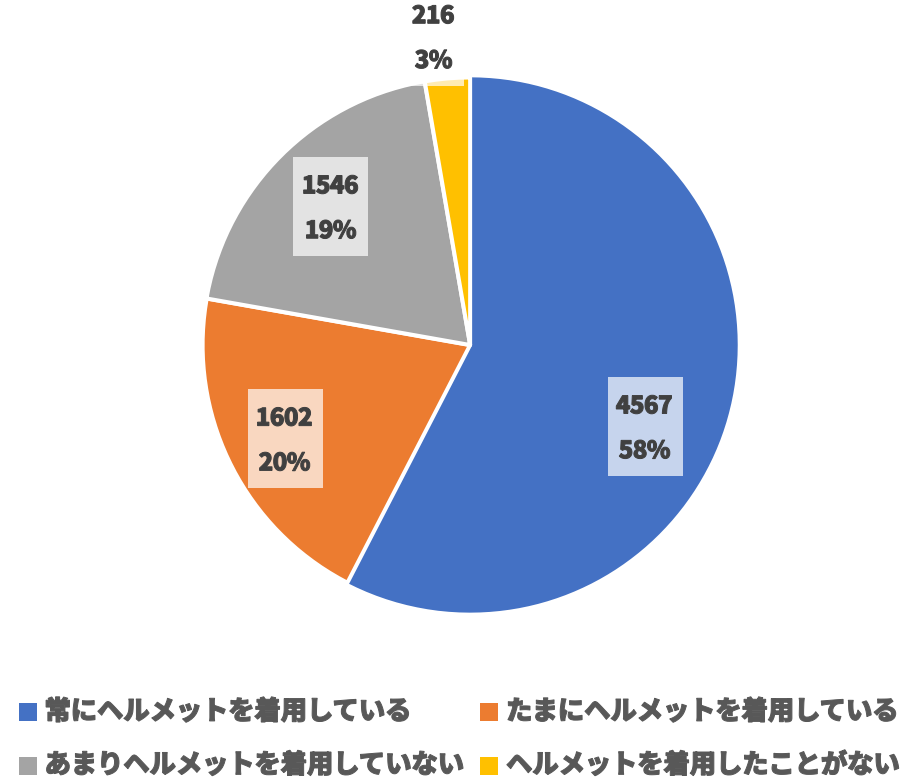
夜間に自転車に乗る際、ライトを点灯することを守れていますか



自転車乗車中の夜間ライト点灯の状況について尋ねたところ、常に守っているとの回答が7526人、95%となり大半を占めています。

▼ 回答結果（高校生）

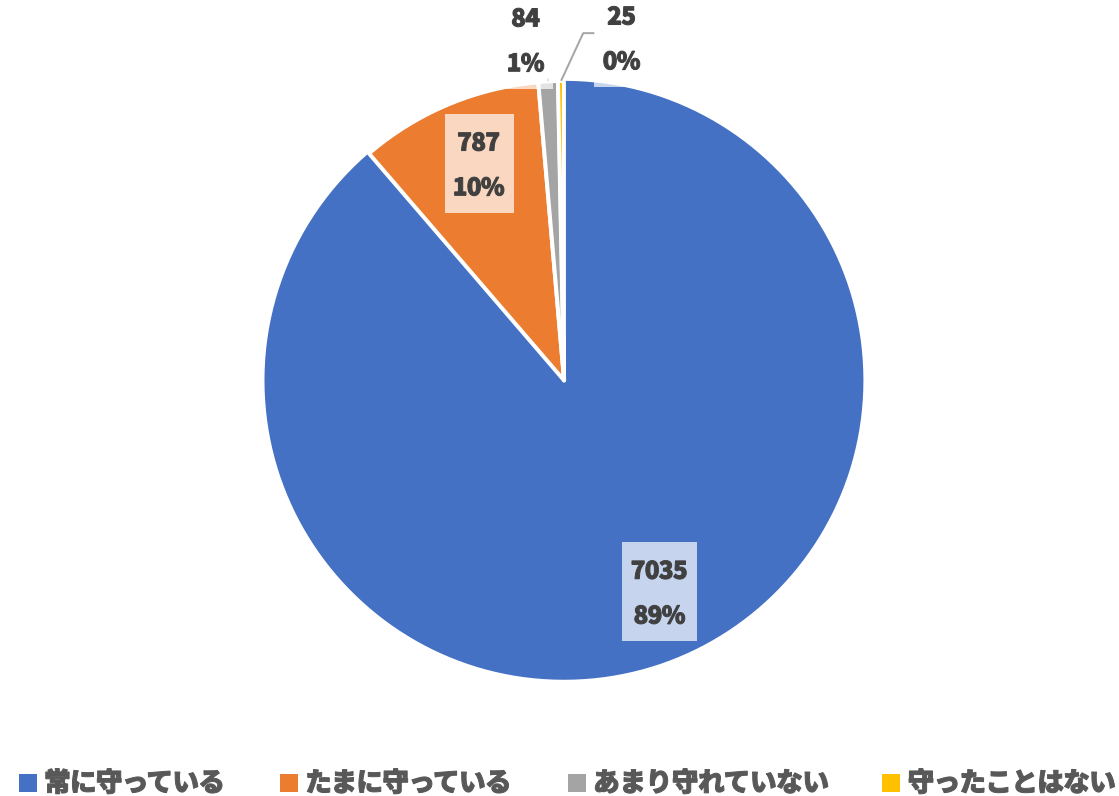
自転車に乗る際に、ヘルメット着用をしていますか



自転車乗車中のヘルメット着用の状況について尋ねたところ、常に着用しているが4567人、たまに着用しているが1602人、あまり着用していない回答が1546人となりました。

▼ 回答結果（高校生）

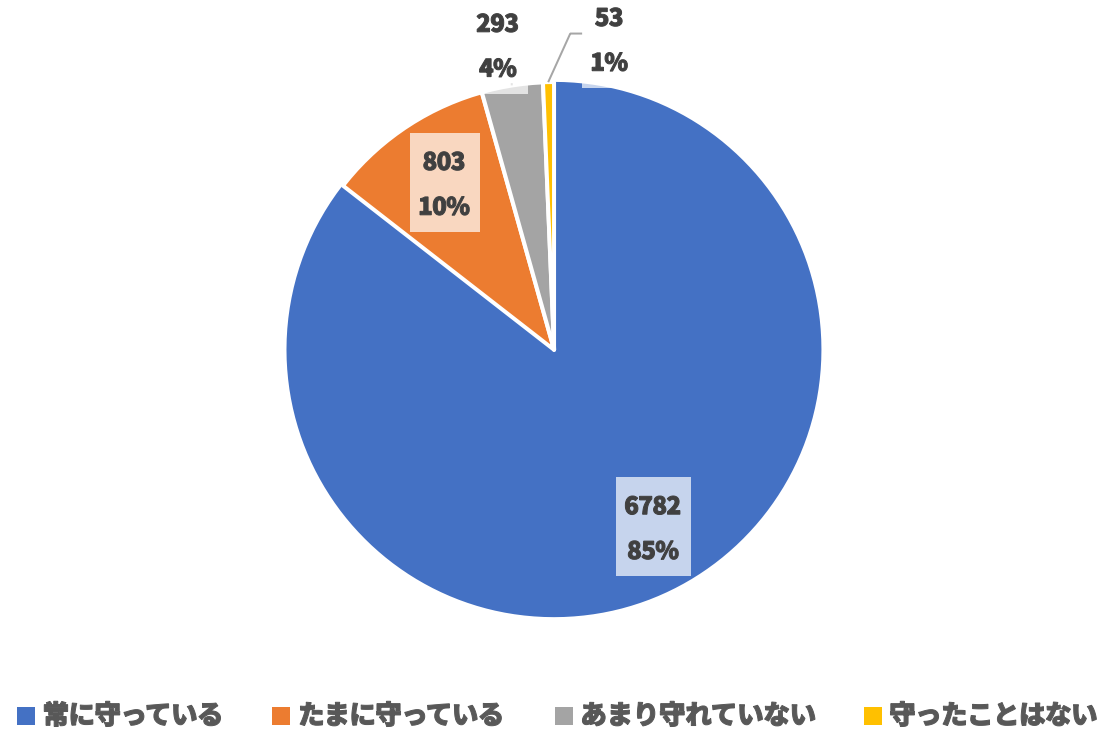
スマホの「ながら運転」禁止を守れていますか



自転車乗車中のスマホの「ながら運転」の状況について尋ねたところ、常に守っているが7035人89%、たまに守っているが787人10%となりました。

▼ 回答結果（高校生）

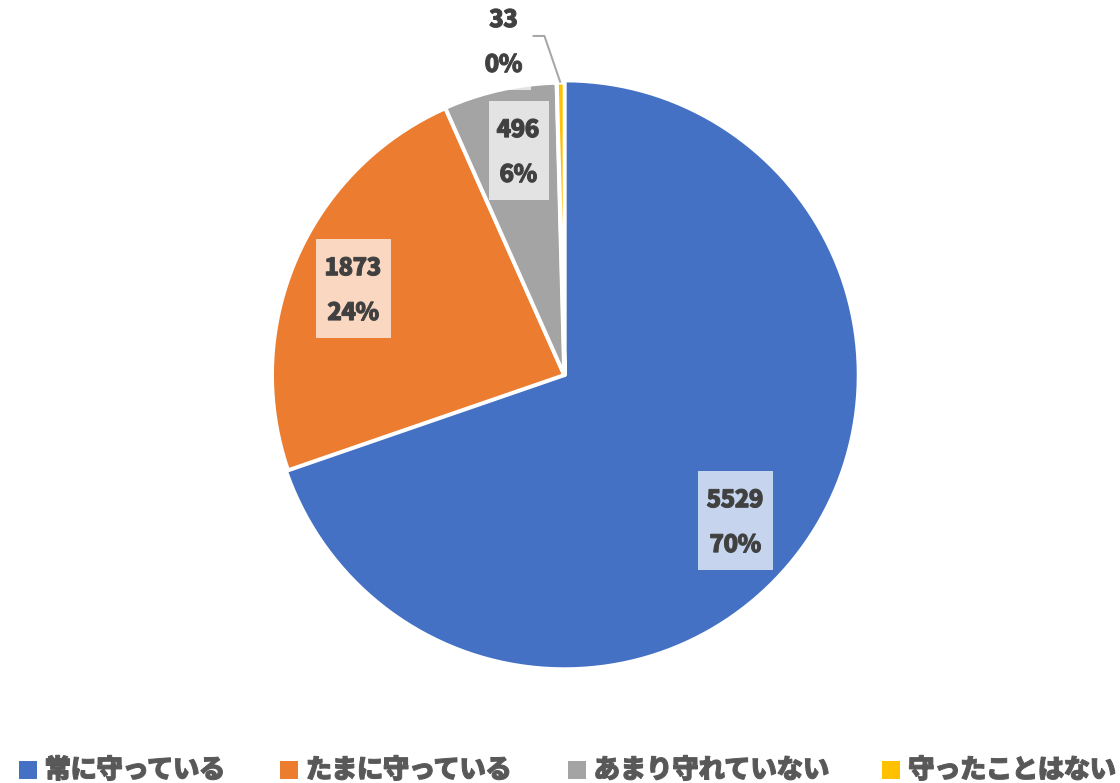
ヘッドホン・イヤホンをつけるなど周囲の音が聞こえない状態での自転車運転禁止を守れていますか



自転車乗車中の周囲の音が聞こえない状態での自転車運転禁止の状況について尋ねたところ、常に守っているが6782人85%、たまに守っているが803人10%となりました。

▼ 回答結果（高校生）

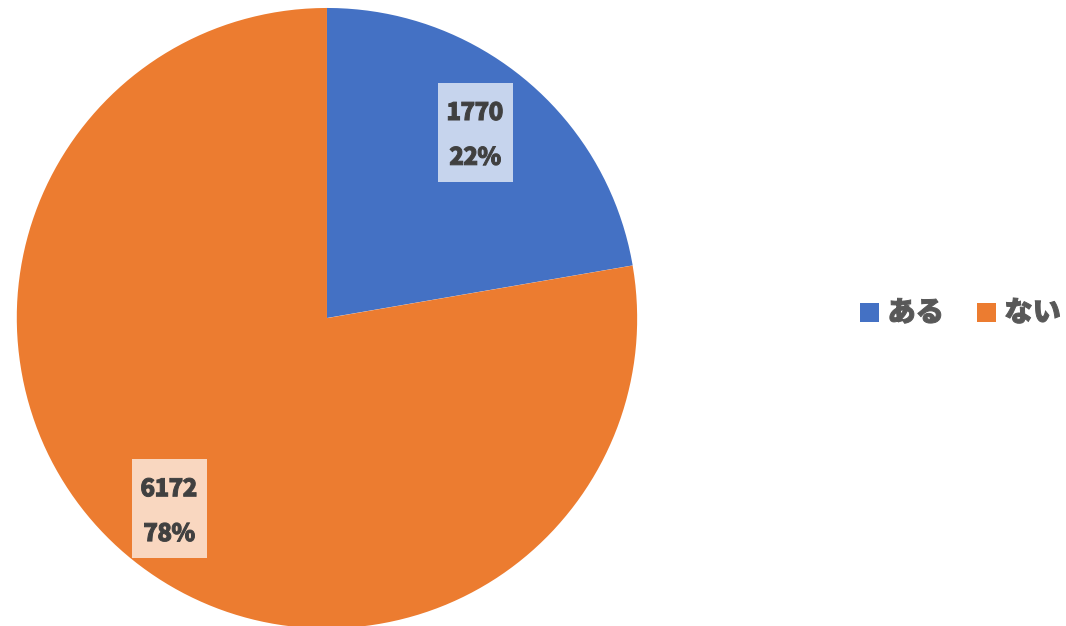
自転車運転時は、「自転車が二台横に並んでの走行の禁止」を守れていますか



自転車乗車中の自転車が二台横に並んでの走行の状況について尋ねたところ、常に守っているが5529人70%、たまに守っているが1873人24%となりました。

▼ 回答結果（高校生）

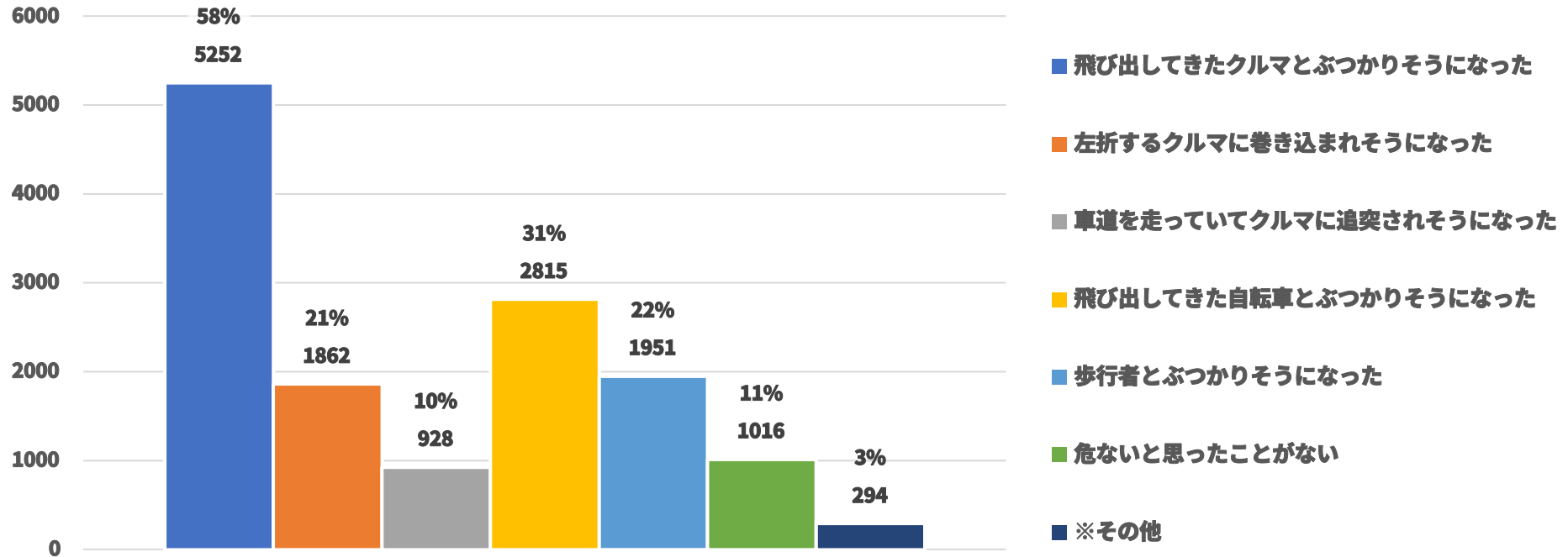
今まで自転車利用中に事故にあったことはありますか



今まで自転車利用中に事故にあったことがあるか尋ねたところ、1770人、22%が事故にあったと回答しました。内容を尋ねたところ、1238件の回答を頂いています。

回答結果（高校生）

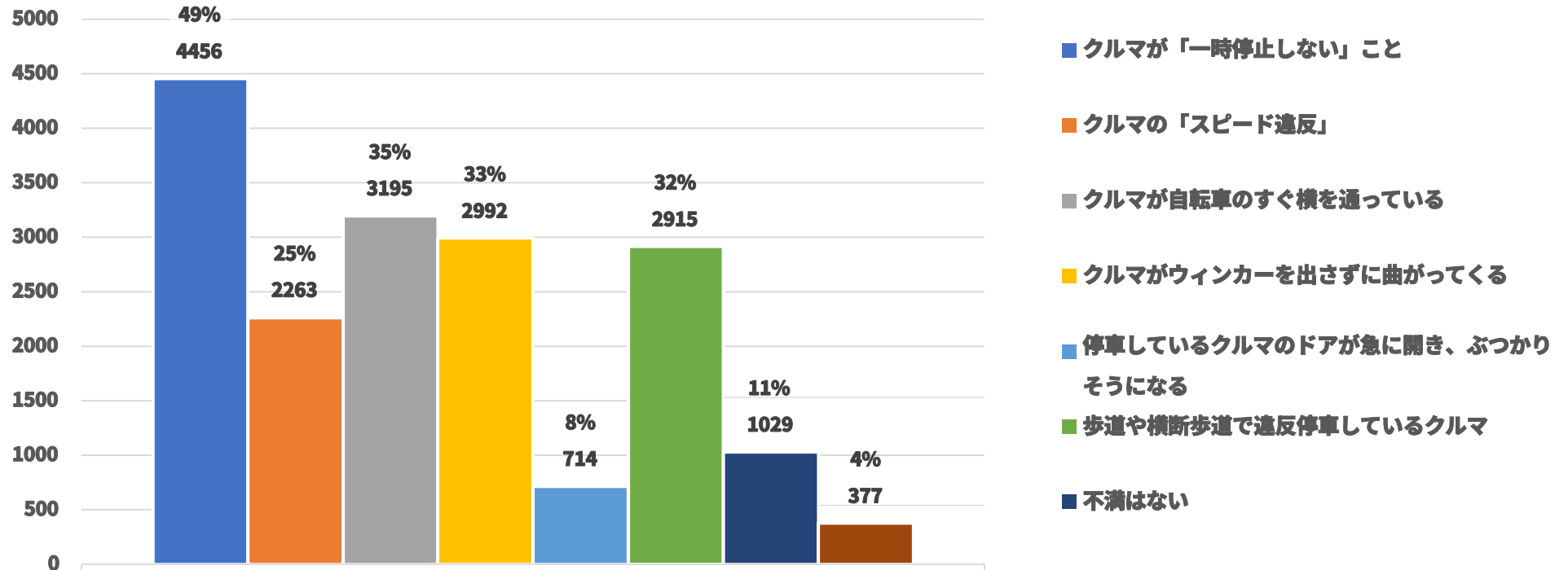
今まで自転車利用中に危ないと思ったことがあれば、
どのような場面だったかを教えてください



今まで自転車利用中に危ないと思った場面を尋ねたところ、上記の通りの結果となりました。
最も多かったのは飛び出してきたクルマとぶつかりそうになったが5252件、
最も少なかったのは車に追突されそうになった928件となりました。

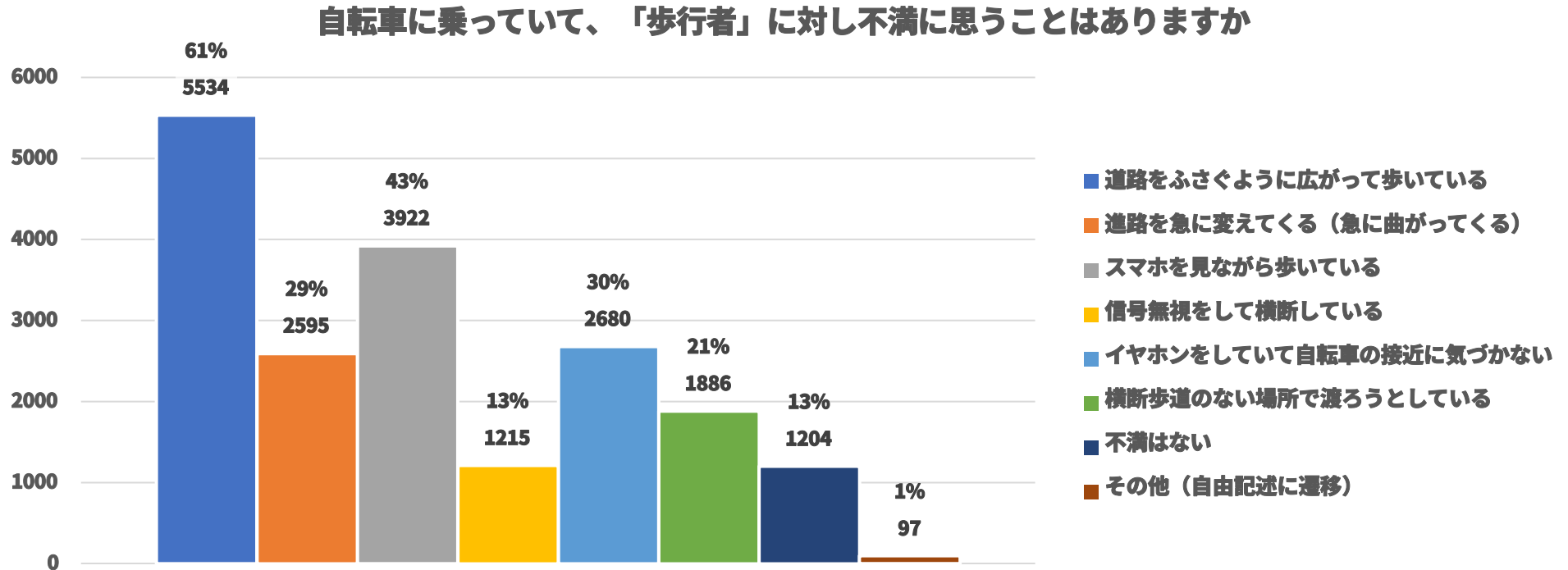
回答結果（高校生）

自転車に乗っていて、「クルマの運転手」に対し不満に思うことはありますか



自転車利用中にクルマの運転手に対する不満を尋ねたところ、上記の通りの結果となりました。最も多かったのはクルマが「一時停止しない」ことで全体の49%から回答があり、続いて自転車のすぐ横の通過、ウィンカーを出さずに曲がること、歩道や横断歩道の違反停車、スピード違反についても2000件以上の回答がありました。

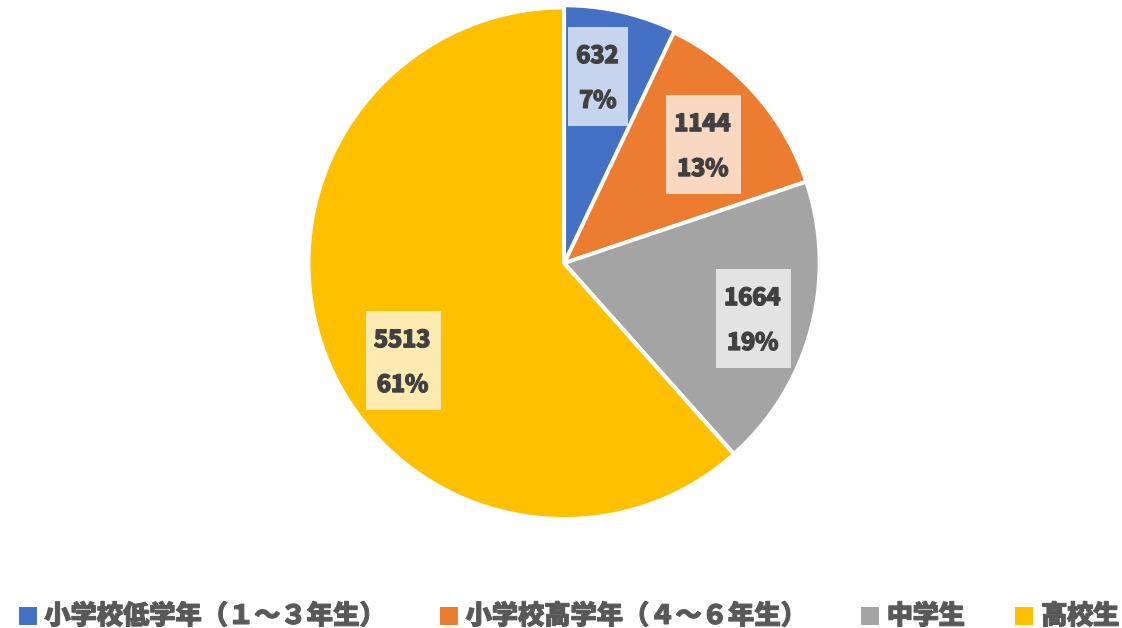
回答結果（高校生）



自転車利用中の歩行者に対する不満を尋ねたところ、上記の通り結果が得られました。最も多かったのは道路をふさぐように広がって歩いていることで全体の61%からの回答がありました。続いてスマホを見ながら歩いている、イヤホンをしていて接近に気づかない、進路を急に変わってくるとなっており、それぞれが2000件以上の回答となっています。

回答結果（高校生）

自転車の交通ルールを最後に学んだのはいつですか

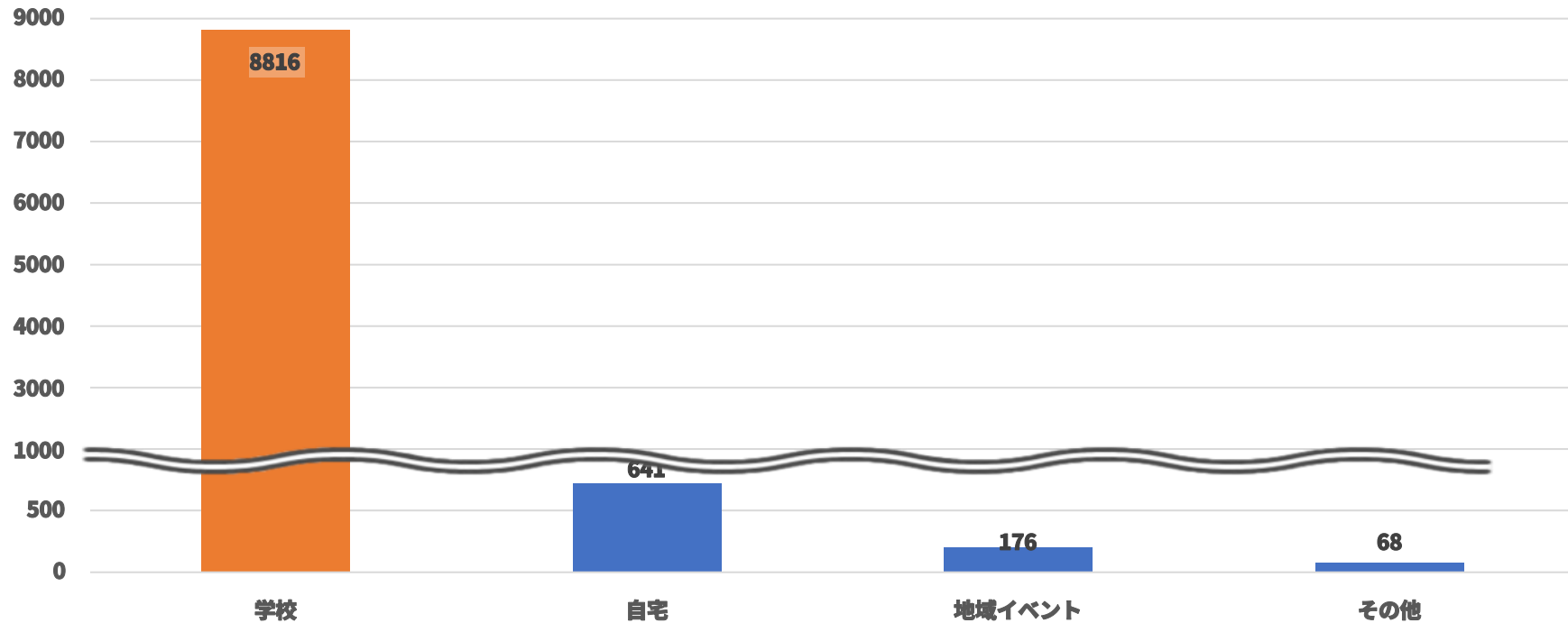


自転車の交通ルールを最後に学んだ時期を尋ねたところ、上記の通り結果が得られました。

5513人、61%が高校で学んだと回答した。残り40%の内、約20%が中学生、13%が小学校高学年、7%が小学校低学年と回答しています。

▼ 回答結果（高校生）

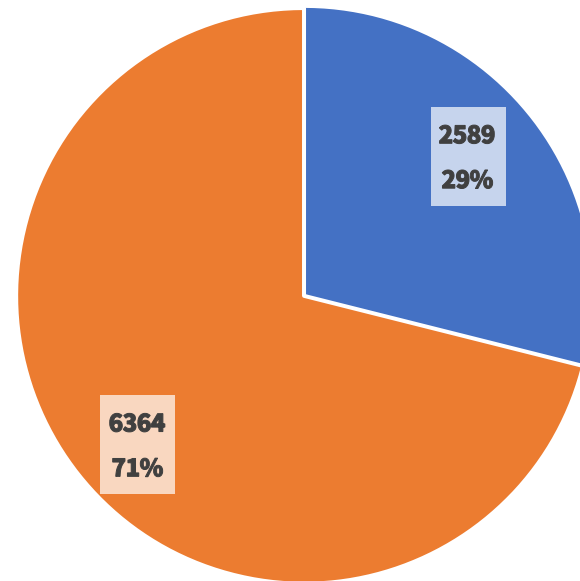
自転車の交通ルールを学んだのはどこですか
当てはまるものをすべて選んでください



自転車の交通ルールを学んだ場所を尋ねたところ、上記の通り結果が得られました。
学校との回答が8816件で大半の回答となっています。

▼ 回答結果（高校生）

自転車の交通ルールを「ご家庭」で学んだことはありますか

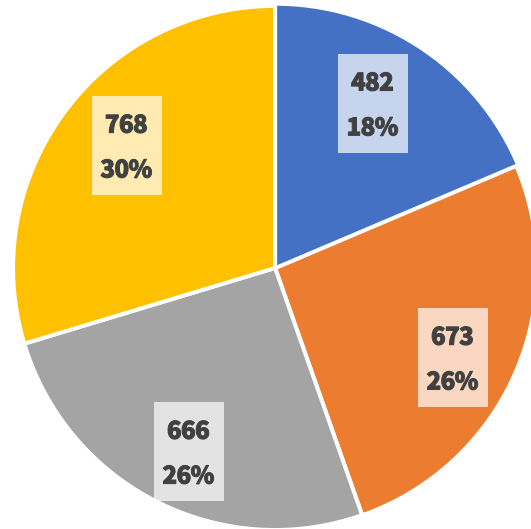


■ ある ■ ない

自転車の交通ルールをご家庭で学んだことがあるか尋ねたところ、7割がない と回答しました。

▼ 回答結果（高校生）

「ある」と回答した方に伺います。
最後にご家庭で学んだのはいつですか

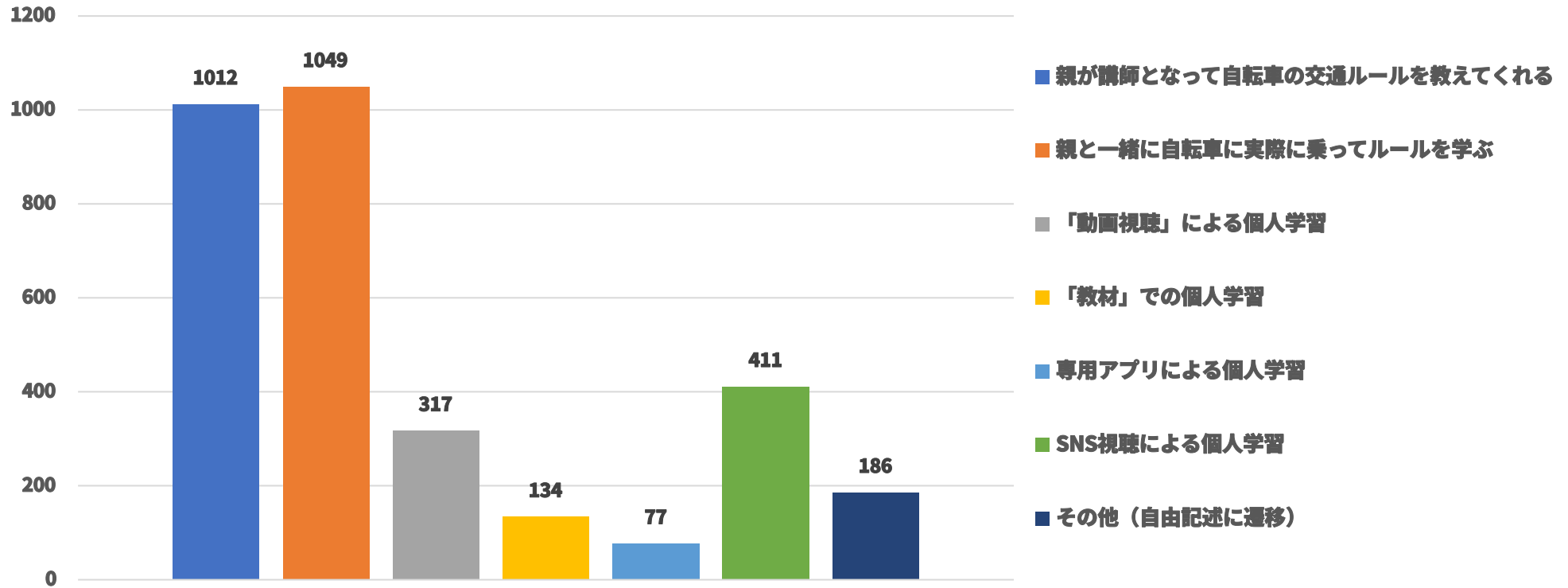


■ 小学校低学年（1～3年生） ■ 小学校高学年（4～6年生） ■ 中学生 ■ 高校生

自転車の交通ルールをご家庭で学んだことがあると回答した方に、最後に学んだ時期を尋ねたところ、最も多いのは高校生でしたが、全体的に分散していました。

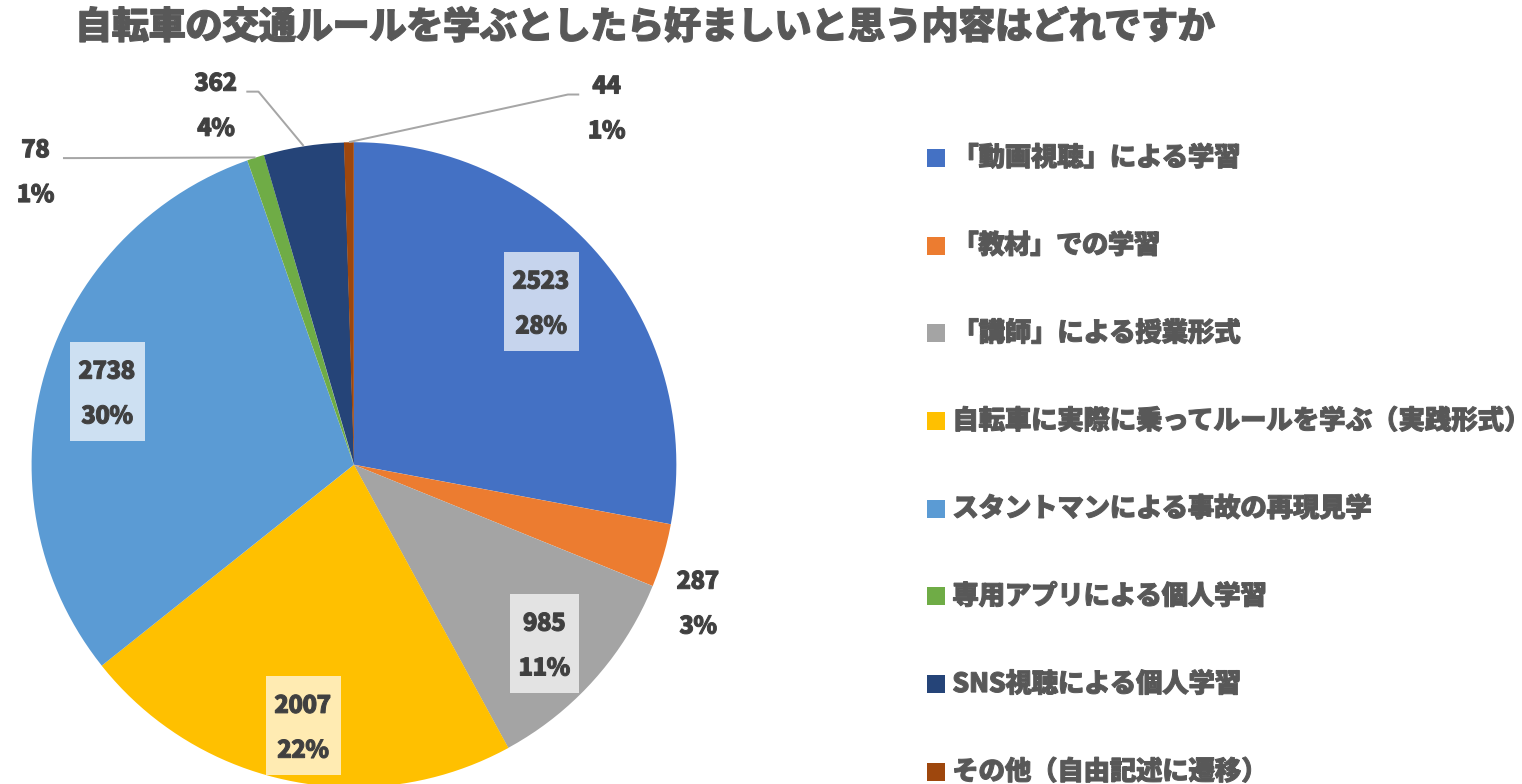
回答結果（高校生）

ご家庭で学んだ内容はどのようなものでしたか



自転車の交通ルールをご家庭で学んだことがあると回答した方に、学んだ内容を尋ねたところ、最も多いのが、親と一緒に自転車に実際に乗って学ぶ、次点で親が講師となって自転車の交通ルールを教えてくれる、となりました。

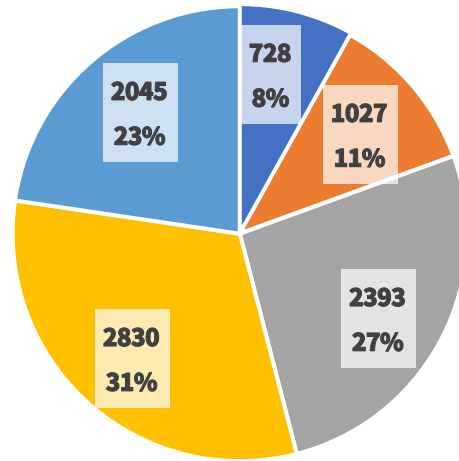
回答結果（高校生）



自転車の交通ルールを学ぶのに好ましい内容を尋ねたところ、最も多いのが、スタントマンによる事故の再現見学の2738件となりました。次点が「動画視聴」による学習となり、自転車に実際に乗ってルールを学ぶ実践形式、が並んでいます。

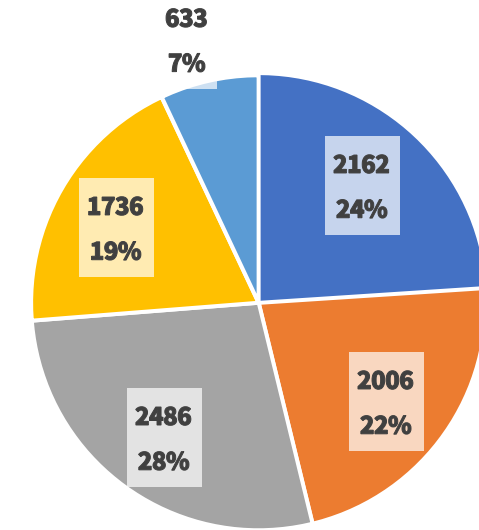
回答結果（高校生）

自転車の交通ルールを「学校で」動画を見て学ぶとしたら、どのくらいの時間が好ましいですか



■ 30秒 ■ 1分 ■ 3分 ■ 5分 ■ 10分

自転車の交通ルールを「自宅で」動画を見て学ぶとしたら、どのくらいの時間が好ましいですか



■ 30秒 ■ 1分 ■ 3分 ■ 5分 ■ 10分

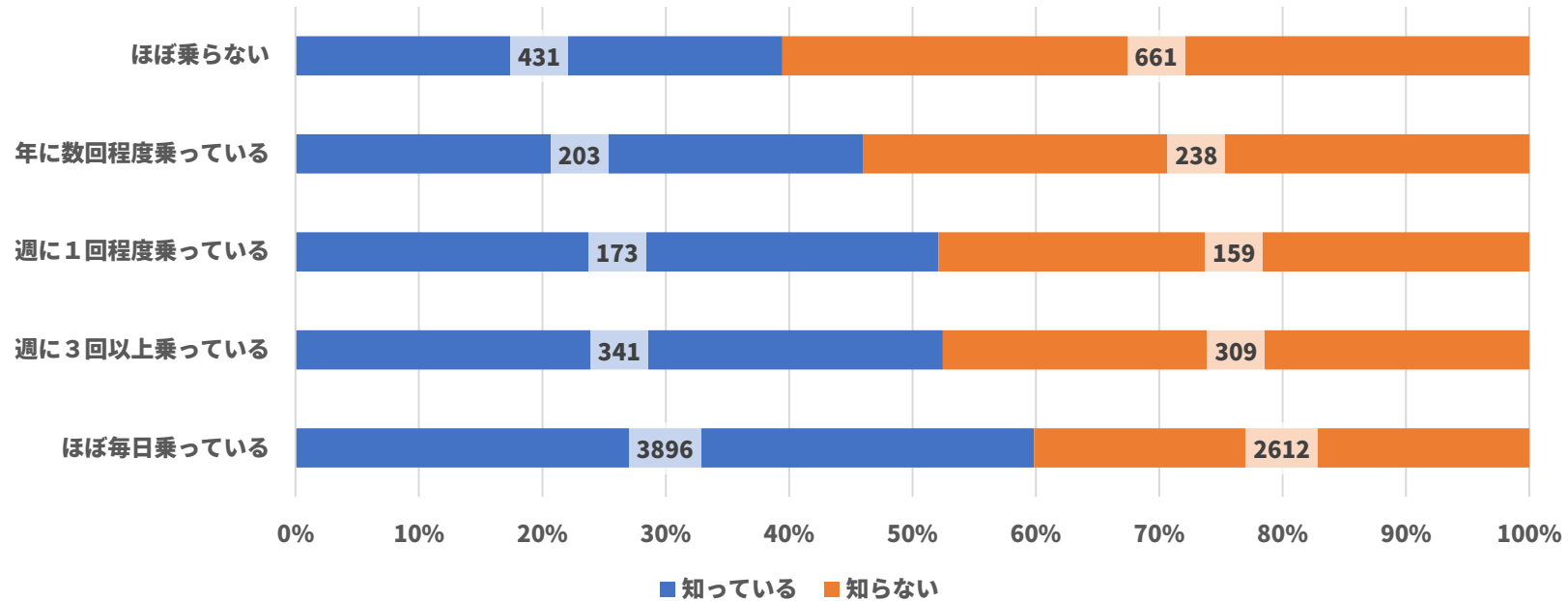
自転車の交通ルールを動画で学ぶのに好ましい時間を尋ねたところ、学校で学ぶ場合は、5分が最も多く、3分、10分と続いています。自宅で学ぶ場合は、3分が最も多く、次点が30秒、1分と続いており、自宅の方が短い時間を希望する傾向にあるようです。

05

回答分析 (高校生)

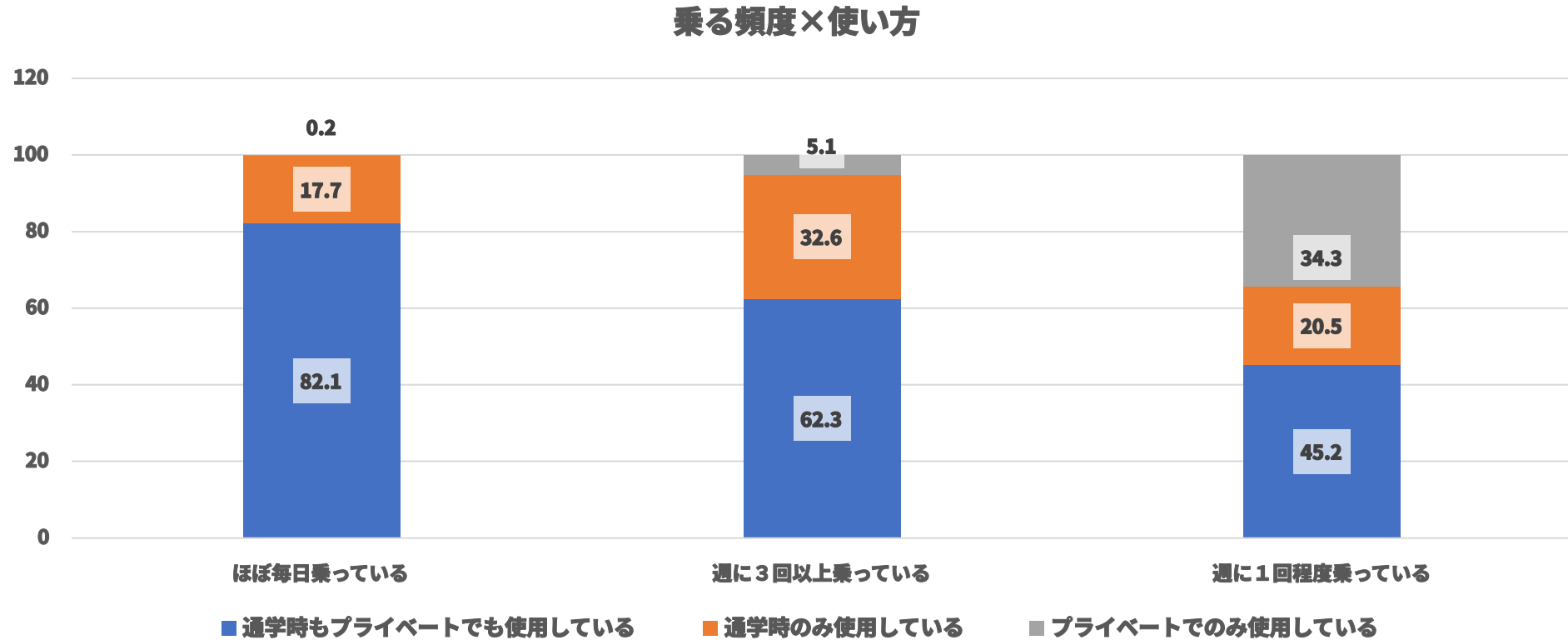
回答分析(高校生)

乗る頻度×青切符認知



自転車の利用頻度に対して、青切符の認知の回答状況を確認したところ、自転車の利用頻度と青切符の認知数が相関していることが確認できました。

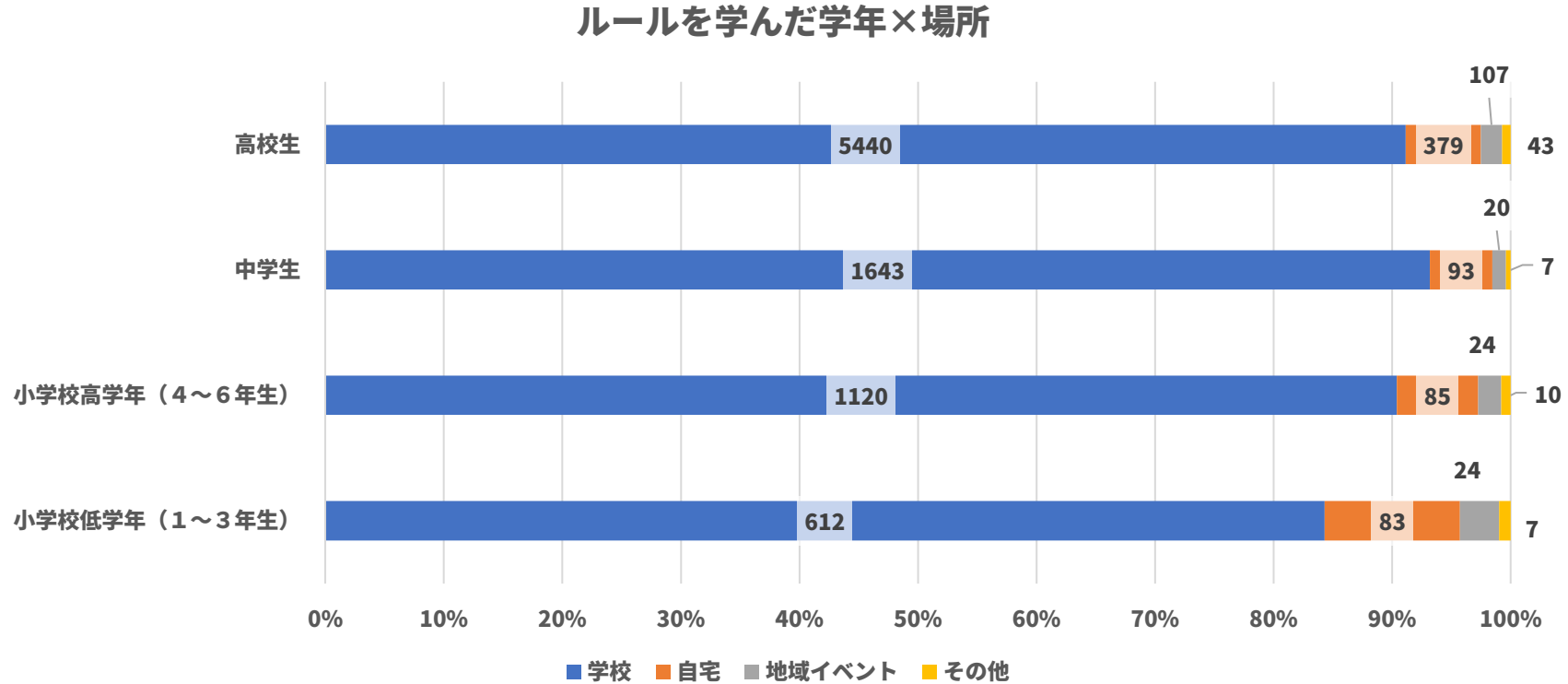
回答分析(高校生)



自転車の利用頻度別に利用用途を整理したところ、上記の結果となりました。

週1回程度で利用しているうち、30%がプライベートのみの利用と回答しています。

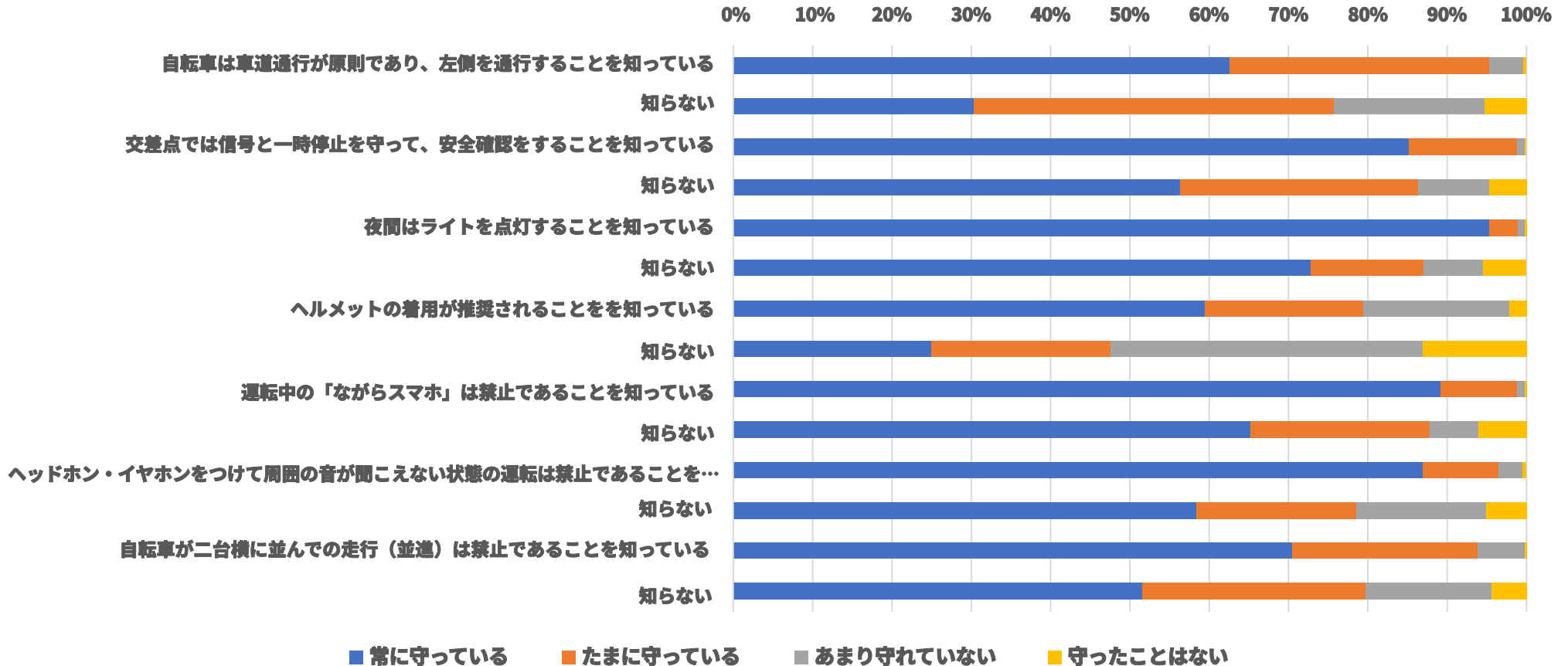
回答分析(高校生)



最後にルールを学んだ学年ごとに、学んだ場所を集計したところ、上記の通りとなりました。
ほとんどが学校となっているものの、年齢の低下につれて「自宅で学習」との回答割合の増加がみられます。

回答分析(高校生)

基本ルール×遵守

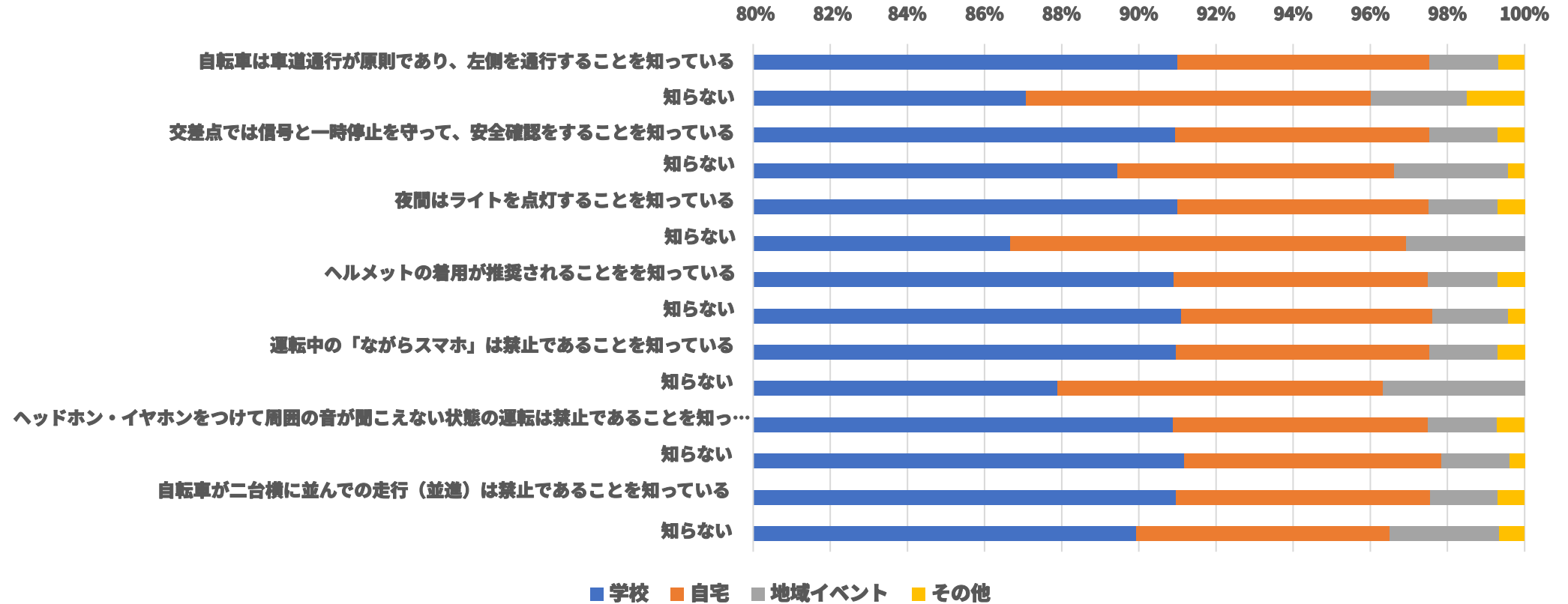


基本ルールの認知状況と遵守状況については上記の通りとなりました。

「たまに守っている」層の有無で5割から9割の幅のある項目が見られました。

回答分析(高校生)

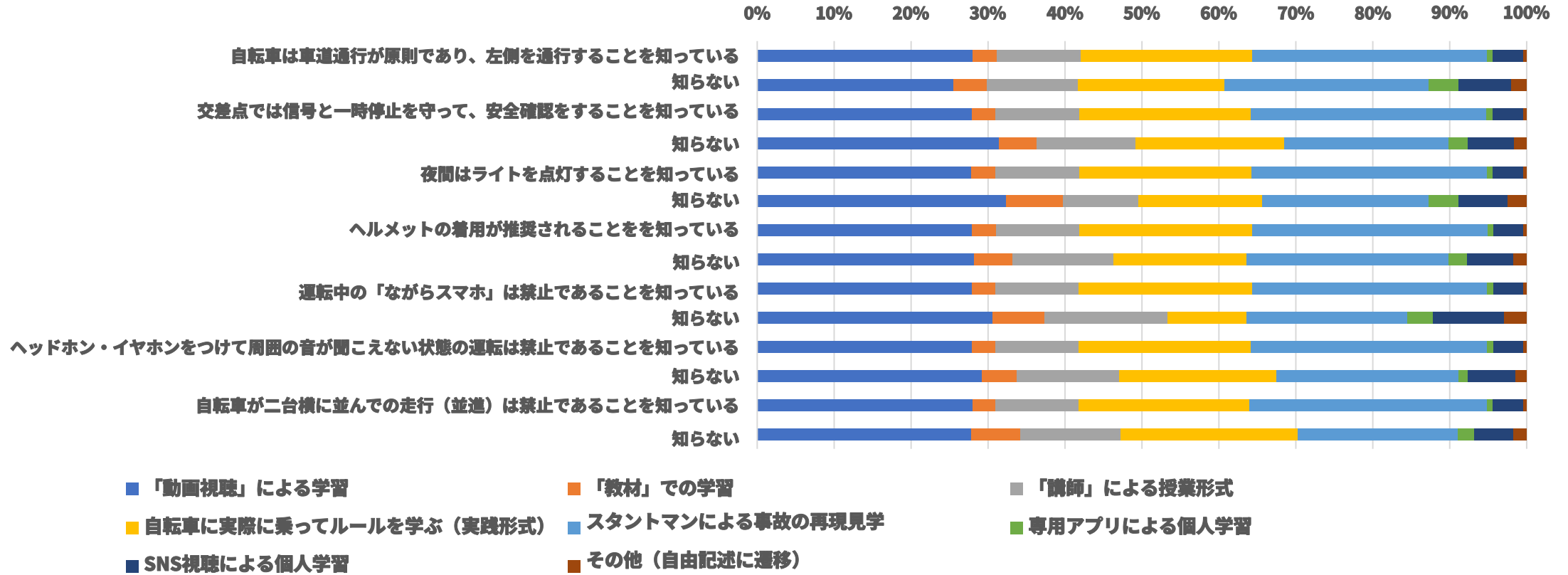
基本ルール×学んだ場所



基本ルールの認知状況と学んだ場所については上記の通りとなりました。
 多くの設問で「知っている」と回答してる生徒は「学校で学んだ」と回答しており、
 自宅での学習効果は相対的に低い結果となっています。

回答分析(高校生)

基本ルール×学びたい方法



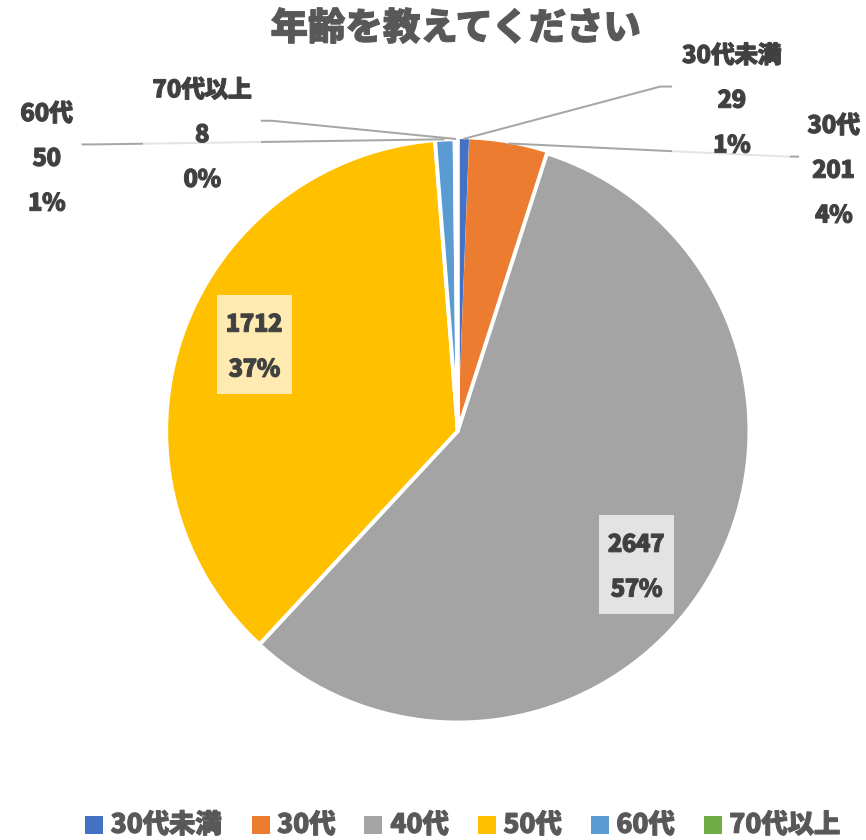
基本ルールの認知状況と学びたい方法については上記の通りとなりました。

「基本ルールを知らない」と回答した生徒がどのようなツールで学習したい傾向なのかを想定しましたが、全般的にスタントマン、動画視聴、実践形式と分かれてあまり大きな差異はありませんでした。

05

回答結果（保護者）

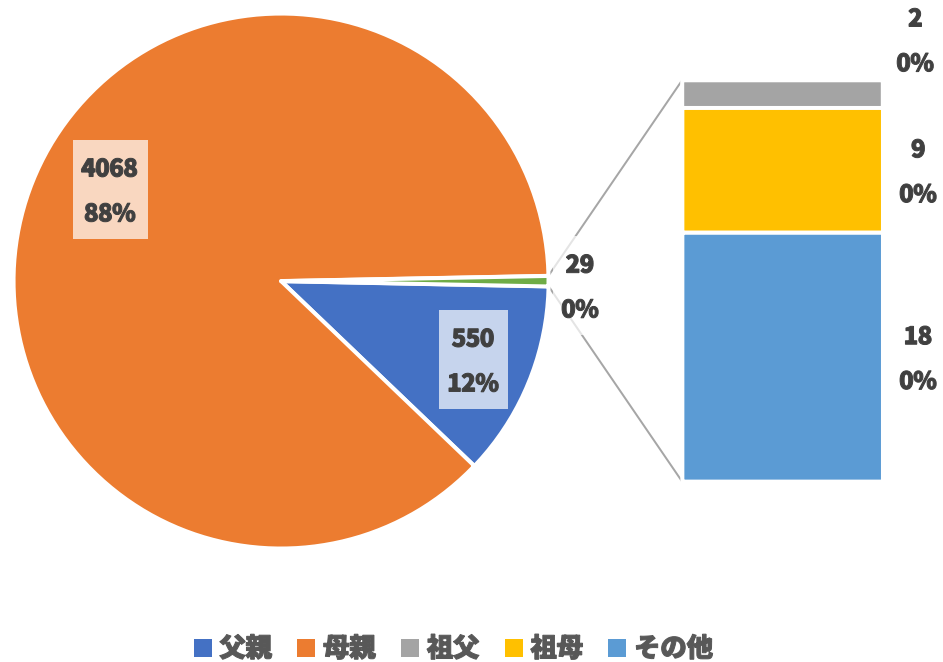
▼ 回答結果(保護者)



年齢について尋ねたところ上記の通りとなりました。
40代が57%、50代が37%で9割を占めています。

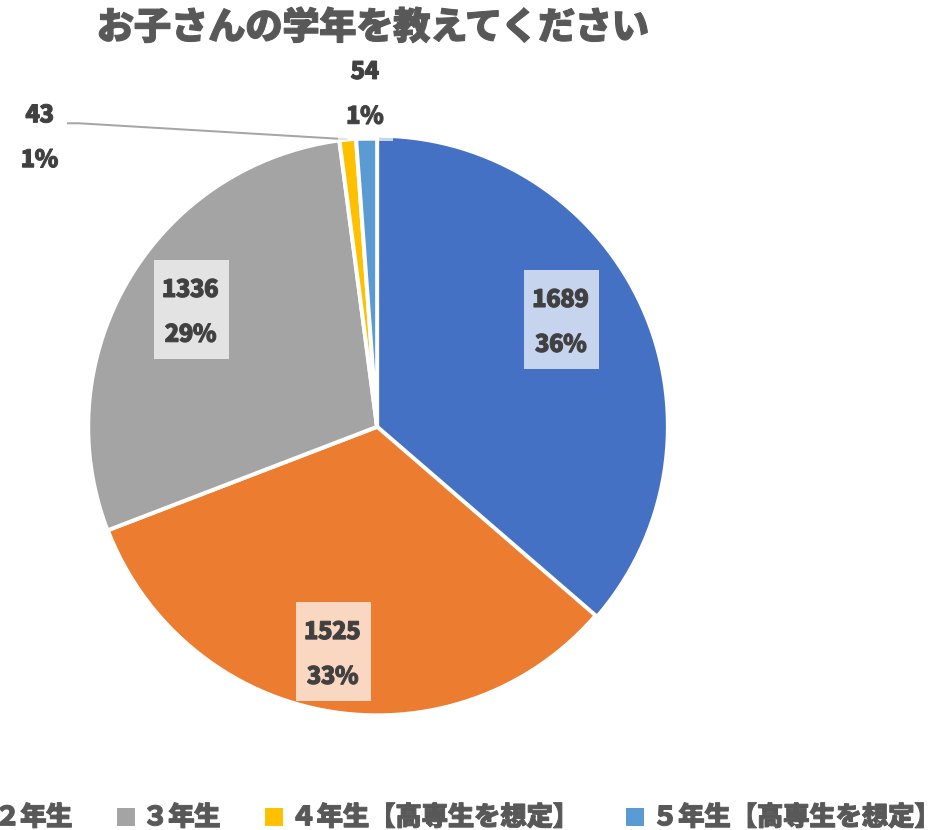
回答結果(保護者)

お子さんとの続柄を教えてください



お子さんとの続き柄を尋ねたところ上記の通りとなりました。
88%が母親、12%が父親からの回答でした。

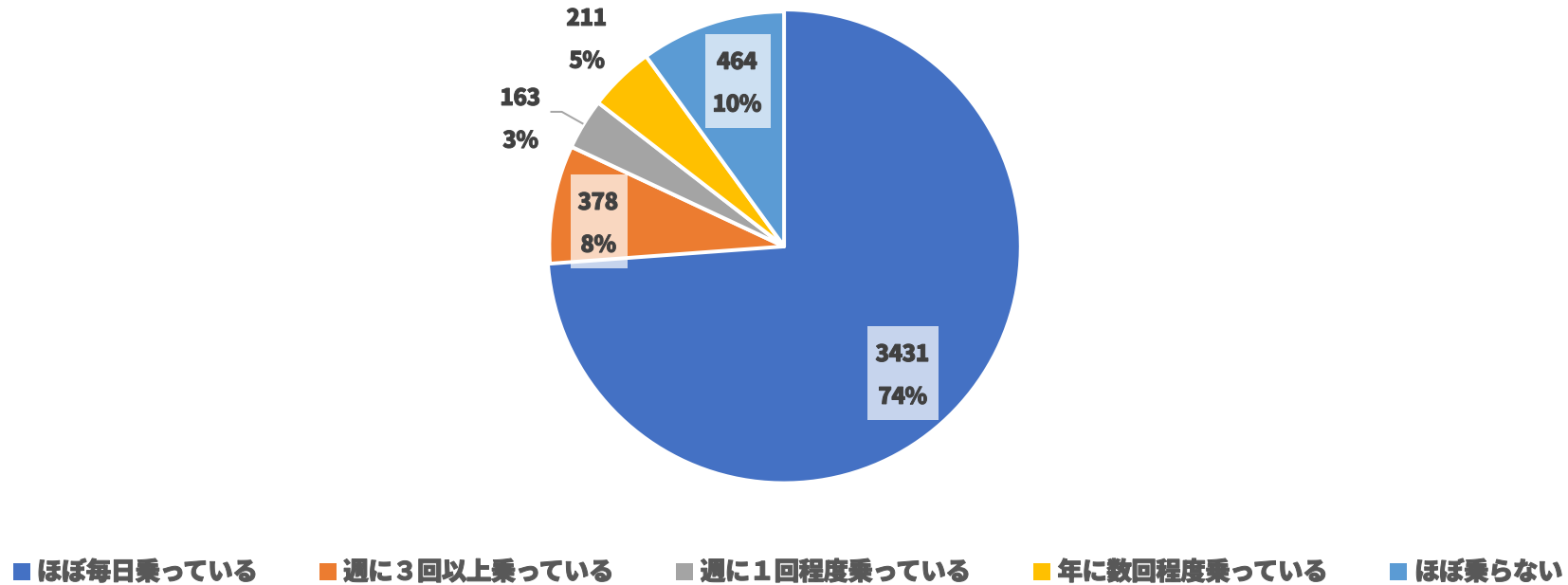
▼ 回答結果(保護者)



お子さんの学年を尋ねたところ、上記の通りとなりました。
高校生本人の回答と比べて、4年生、5年生と回答した割合が増加しています。

▼ 回答結果(保護者)

お子さんが自転車に乗る頻度を教えてください

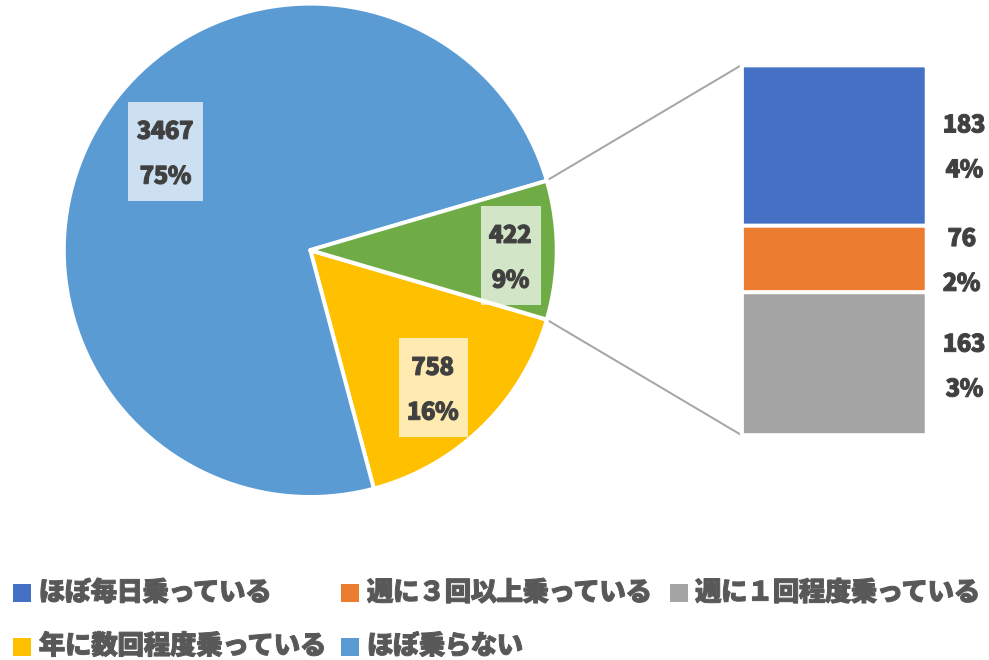


お子さんの自転車利用頻度を尋ねたところ、上記の通りとなりました。

3431件、74%がほぼ毎日の利用。ほぼ乗らないが10%と、高校生回答と同様のバランスです。

▼ 回答結果(保護者)

ご自身が自転車に乗る頻度を教えてください

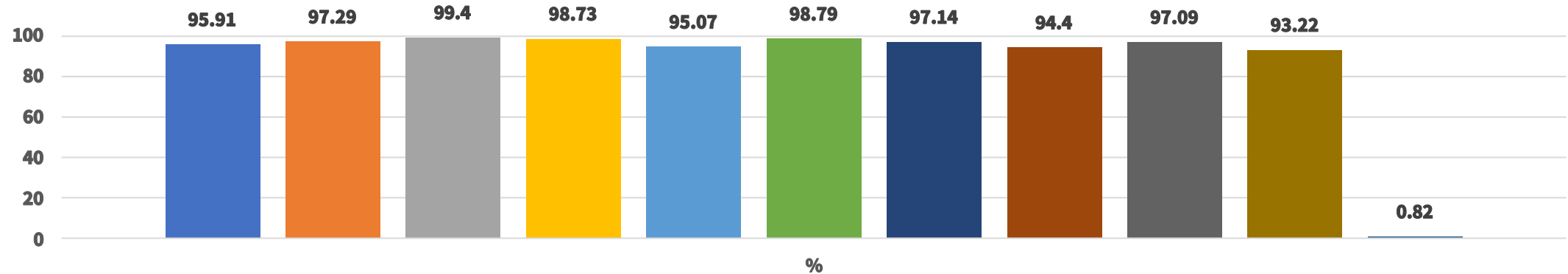


ご自身の自転車利用頻度を尋ねたところ、上記の通りとなりました。

ほぼ乗らない、が3467件75%となっており、年に数回程度と合わせると91%を占めています。

回答結果(保護者)

自転車運転時の基本ルール知っていますか
知っているものをすべて選んでください



- 自転車は車道通行が原則であり、左側を通行すること
- 夜間はライトを点灯すること
- ヘルメットの着用
- 傘さし運転は禁止であること
- 二人乗りは禁止であること
- すべて知らない

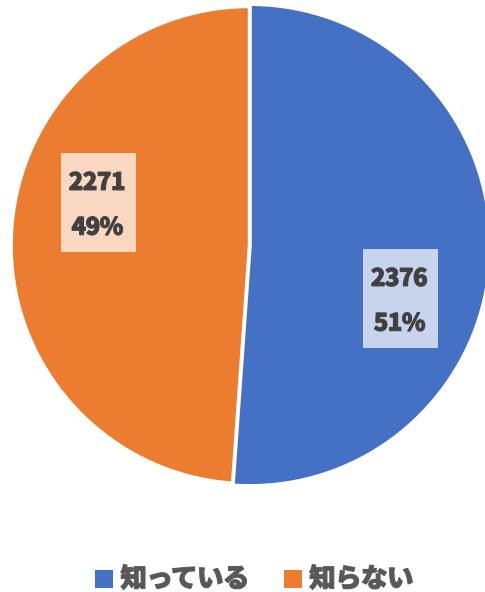
- 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認をすること
- 飲酒運転は禁止であること
- 運転中の「ながらスマホ」は禁止であること
- ヘッドホン・イヤホンをつけて周囲の音が聞こえない状態の運転は禁止であること
- 自転車二台横に並んでの走行(並進)は禁止であること

自転車運転時の基本ルールの認知度を尋ねたところ、上記の通りとなりました。

最も多いのが夜間ライト点灯の99.4%、ながらスマホ、飲酒運転が続き、最も少ないものは並進93.22%でした。

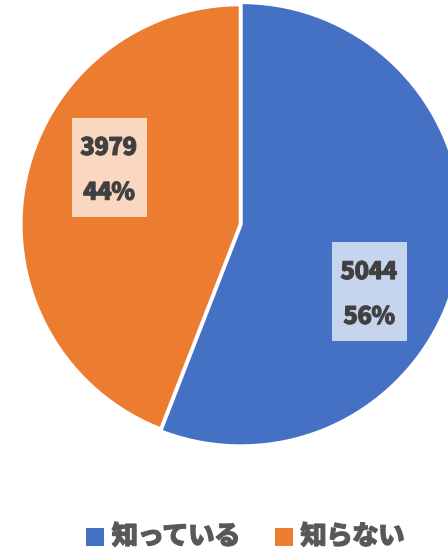
回答結果(保護者)

将来的に「交通反則告知書（通称：青切符）」が導入される見込みであり、適用される対象が16歳以上となることを知っていますか



【参考】高校生回答

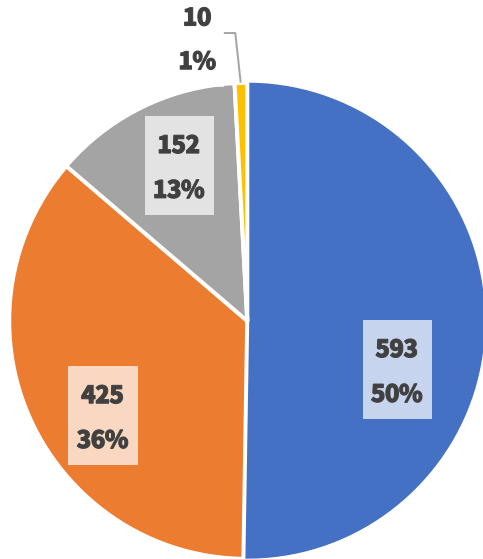
将来的に「交通反則告知書（通称：青切符）」が導入される見込みであり、適用される対象が16歳以上となることを知っていますか



青切符の導入について認知状況を尋ねたところ、上記の通りとなりました。
ほとんど50%で認知度が分かれています。

回答結果(保護者)

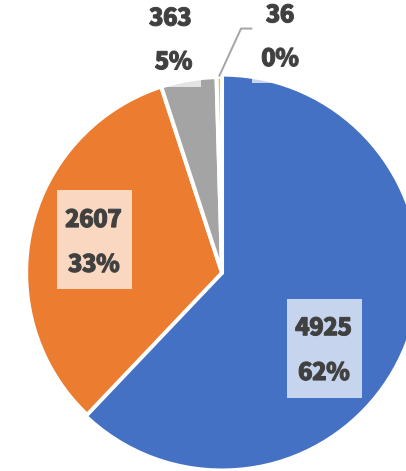
自転車乗車中、車道通行かつ左側を通行を守れていますか



■ 常に守っている ■ たまに守っている ■ あまり守れていない ■ 守ったことはない

【参考】高校生回答

自転車乗車中、車道通行かつ左側を通行を守れていますか



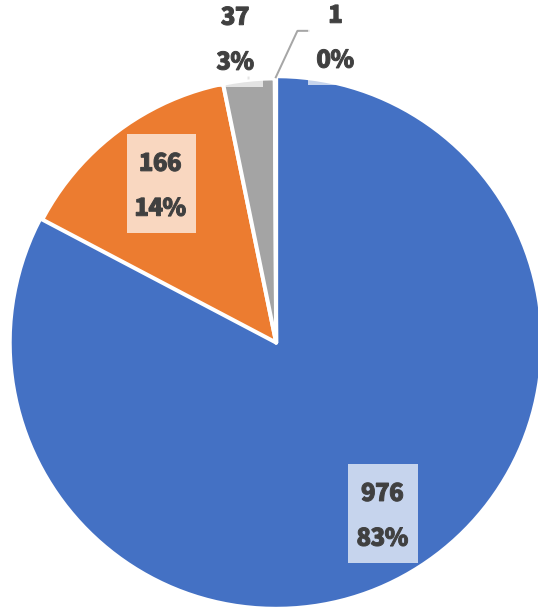
■ 常に守っている ■ たまに守っている ■ あまり守れていない ■ 守ったことはない

自転車乗車中の通行帯の遵守状況を尋ねたところ、上記の通りとなりました。

常に守っているが593件50%となり、たまに守っている425件36%と合わせ、86%となっています。

回答結果(保護者)

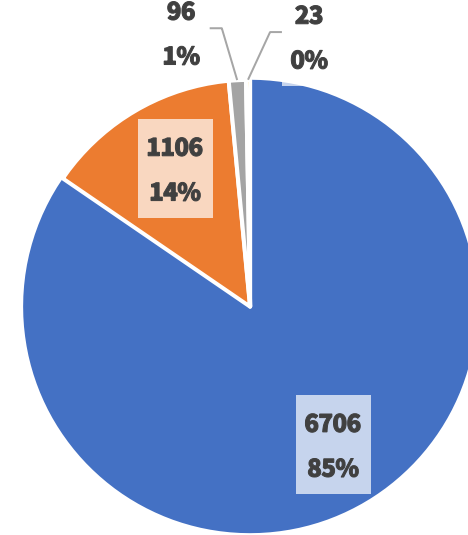
交差点では信号と一時停止をすることを守れていますか



■ 常に守っている ■ たまに守っている ■ あまり守れていない ■ 守ったことはない

【参考】高校生回答

交差点では信号と一時停止をすることを守れていますか

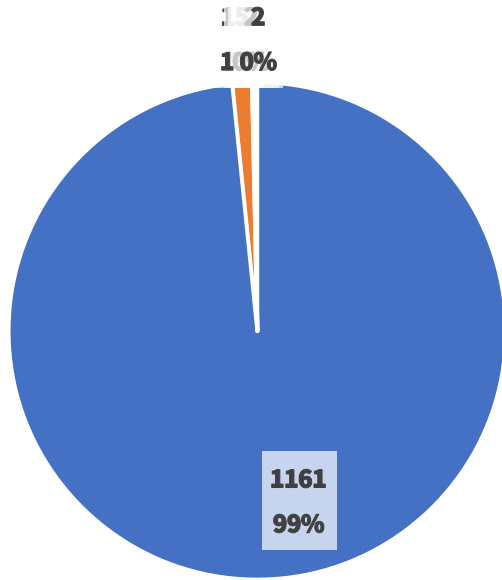


■ 常に守っている ■ たまに守っている ■ あまり守れていない ■ 守ったことはない

自転車乗車中の一時停止の遵守状況を尋ねたところ、上記の通りとなりました。
常に守っているが976件83%となり、たまに守っている、が166件14%となっています。

▼ 回答結果(保護者)

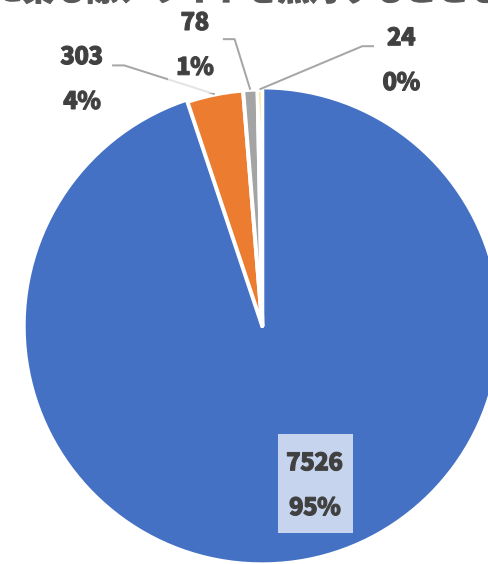
夜間に自転車に乗る際、ライトを点灯することを守れていますか



■ 常に守っている ■ たまに守っている ■ あまり守れていない ■ 守ったことはない

【参考】 高校生回答

夜間に自転車に乗る際、ライトを点灯することを守れていますか

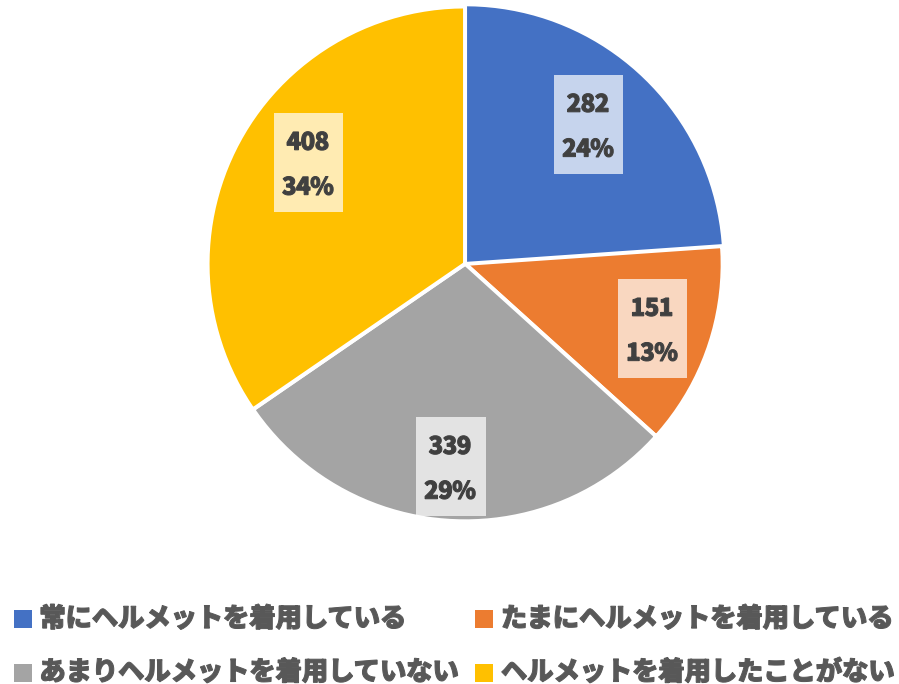


■ 常に守っている ■ たまに守っている ■ あまり守れていない ■ 守ったことはない

夜間ライト点灯の遵守状況を尋ねたところ、上記の通りとなりました。
常に守っているが1161件で99%を占めています。

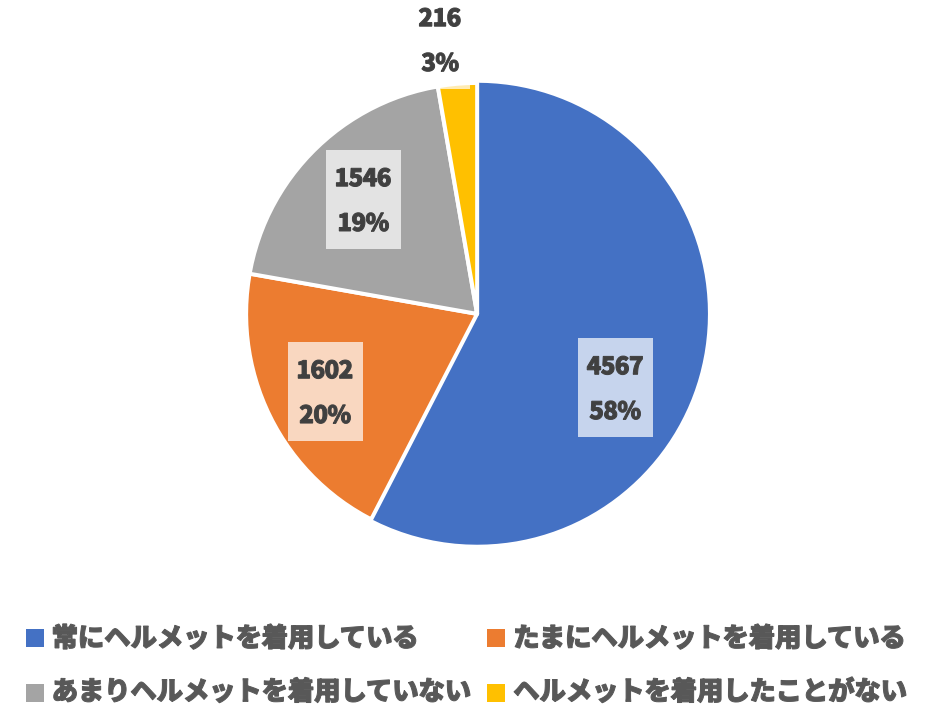
回答結果(保護者)

自転車に乗る際に、ヘルメット着用をしていますか



【参考】高校生回答

自転車に乗る際に、ヘルメット着用をしていますか



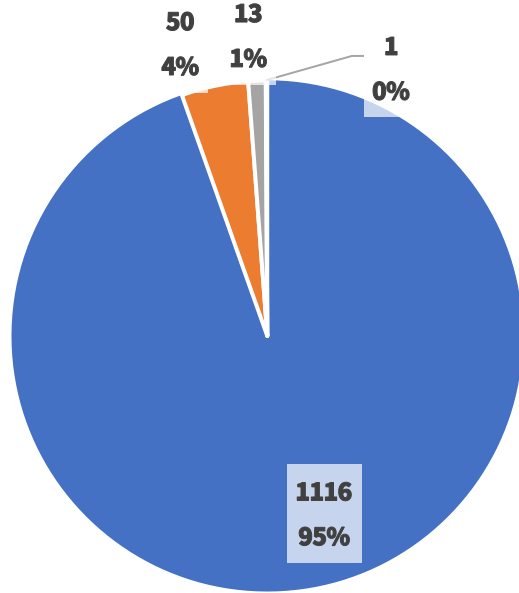
ヘルメット着用の状況を尋ねたところ、上記の通りとなりました。

ヘルメットを着用したことがないが408件34%と最多、あまりヘルメットを着用していないが329件29%と続きます。

高校生と比べると、保護者のほうがヘルメットの着用率が低くなりました。

回答結果(保護者)

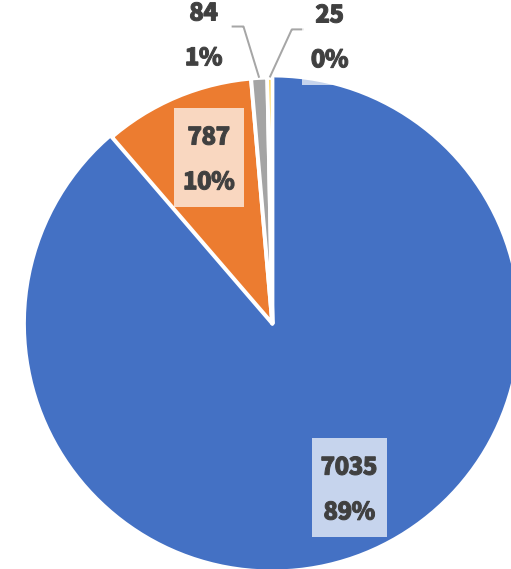
スマホの「ながら運転」禁止を守れていますか



■ 常に守っている ■ たまに守っている ■ あまり守れていない ■ 守ったことはない

【参考】高校生回答

スマホの「ながら運転」禁止を守れていますか



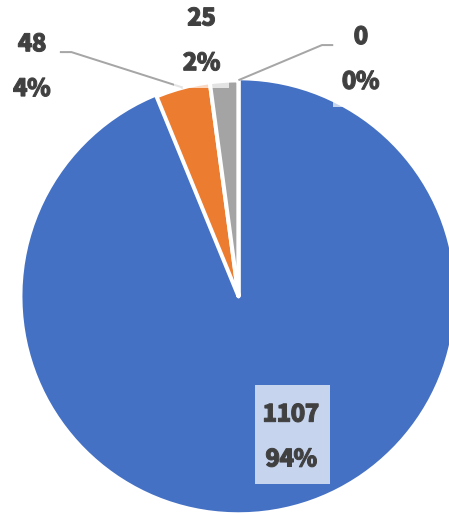
■ 常に守っている ■ たまに守っている ■ あまり守れていない ■ 守ったことはない

スマホのながら運転の状況を尋ねたところ、上記の通りとなりました。

常に守っているが1116件95%となり、たまに守っている50件4%と合わせ99%を占めています。

回答結果(保護者)

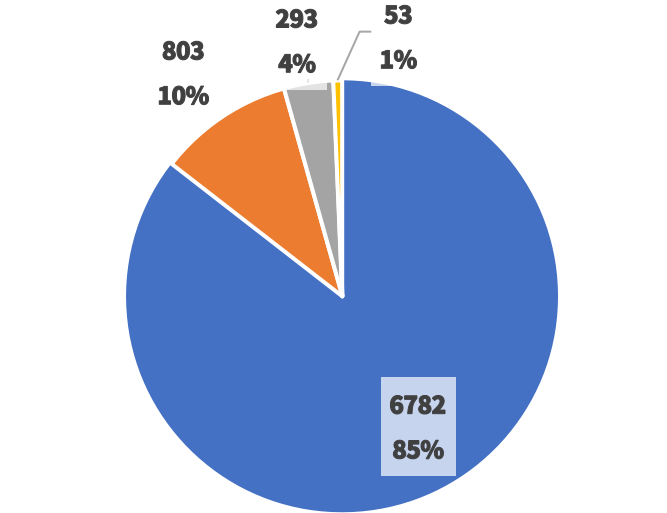
ヘッドホン・イヤホンをつけるなど周囲の音が聞こえない状態での自転車運転禁止を守れていますか



■ 常に守っている ■ たまに守っている ■ あまり守れていない ■ 守ったことはない

【参考】高校生回答

ヘッドホン・イヤホンをつけるなど周囲の音が聞こえない状態での自転車運転禁止を守れていますか

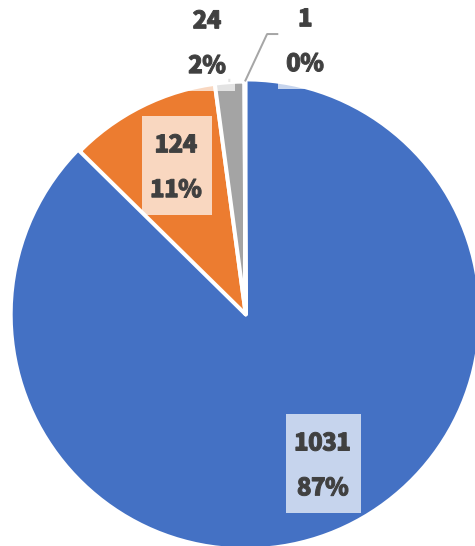


■ 常に守っている ■ たまに守っている ■ あまり守れていない ■ 守ったことはない

周囲の音が聞こえない状態での自動車運転状況を尋ねたところ、上記の通りとなりました。常に守っているが1107件94%となり、たまに守っているが48件、あまり守れていないが25件です。

回答結果(保護者)

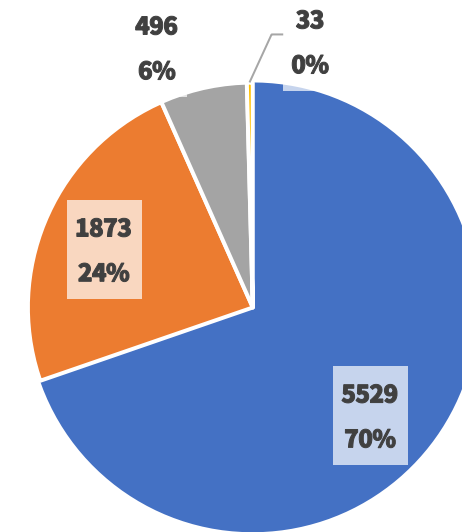
自転車運転時は、「自転車が二台横に並んでの走行禁止」を守れていますか



■ 常に守っている ■ たまに守っている ■ あまり守れていない ■ 守ったことはない

【参考】高校生回答

自転車運転時は、「自転車が二台横に並んでの走行の禁止」を守れていますか



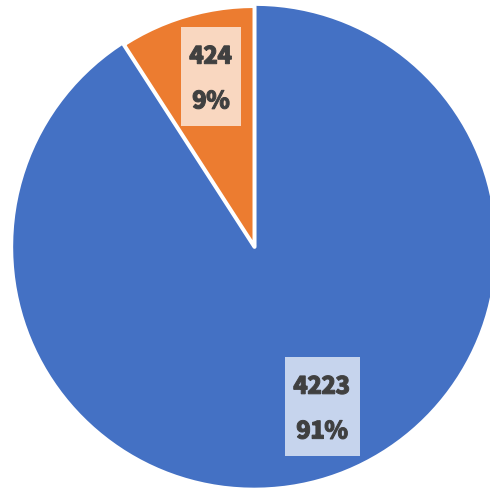
■ 常に守っている ■ たまに守っている ■ あまり守れていない ■ 守ったことはない

並走禁止での運転について尋ねたところ、上記の通りとなりました。

常に守っているが1031件87%となり、たまに守っているが124件11%、あまり守れていないが24件です。

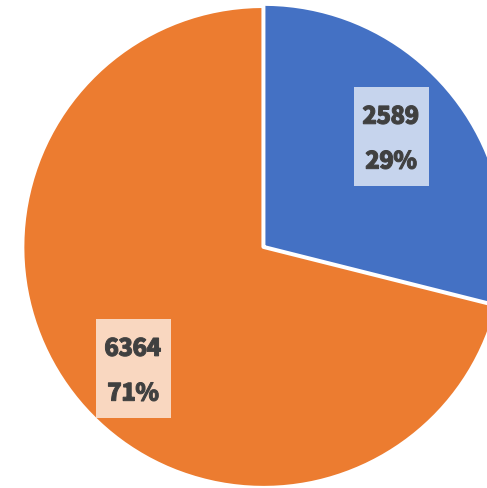
回答結果(保護者)

自転車の交通安全についてお子さんと会話したことはありますか



■ ある ■ ない

自転車の交通ルールを「ご家庭」で学んだことはありますか



■ ある ■ ない

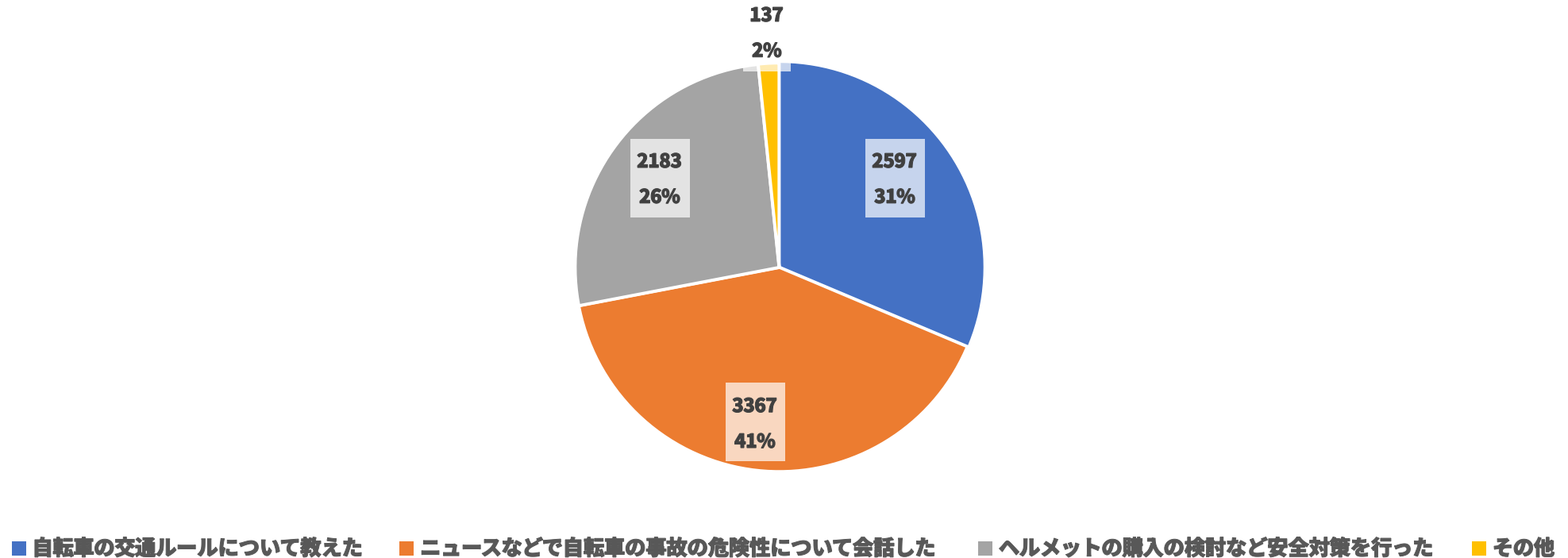
自転車の交通安全についてお子さんと会話したことがあるか尋ねたところ、上記の通りとなりました。

「ある」が4223件91%となり、「ない」が424件9%となっています。

自転車の交通ルールを家庭で学んだことがあるかとの問いについては7割が「ない」と回答している。

回答結果(保護者)

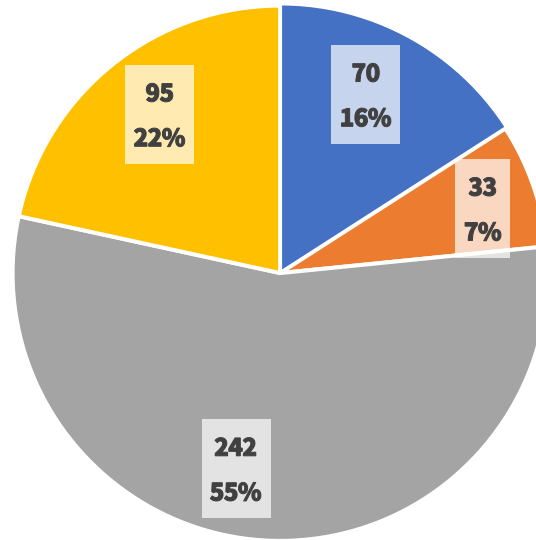
「会話したことはある」と回答いただいた方に伺います。それはどのような内容でしたか



自転車の交通安全についてお子さんと会話したことがある方に内容を尋ねたところ、上記の通りとなりました。ニュースなどで自転車事故の危険性について会話した、が3367件41%となり、自転車の交通ルールについて教えたが2597件31%と続いています。ヘルメットの購入などの安全対策も2183件で26%となっていて、1/3ずつ分散しています。

回答結果(保護者)

「会話したことはない」と回答いただいた方に伺います。その理由は何故でしょうか

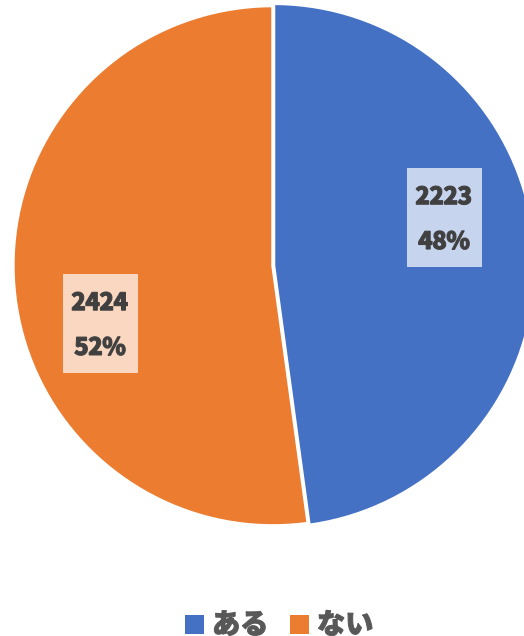


■ 自転車の交通安全について不安がないから ■ 自分自身が自転車の交通ルールを把握できていないから ■ 子供と交通安全について会話する機会がないから ■ その他

自転車の交通安全についてお子さんと会話したことがない方に理由を尋ねたところ、上記の通りとなりました。交通安全について会話する機会がないから、が最も多い回答です。

▼ 回答結果(保護者)

お子さんと決めた自転車を安全に使用するためのルールはありますか



お子さんと決めた自転車の安全利用ルールがあるか尋ねたところ、上記の通りとなりました。あるとの回答が2223件48%、ないとの回答が2424件52%となっています。

「ある」と回答いただいた内容については次ページにて記載しています。

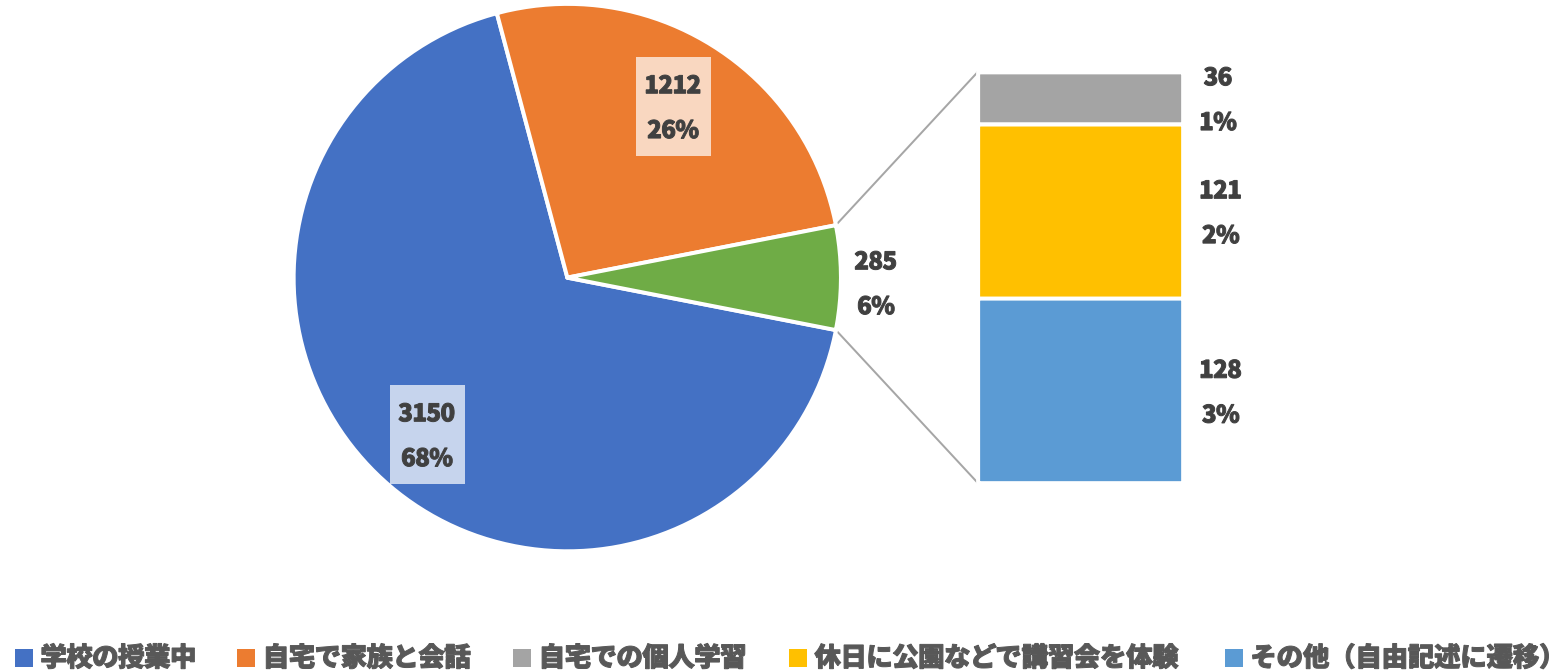
回答結果(保護者)

ヘルメット	121件	ながら運転	7件	危ない時は止まる	1件	無理に乗らない	1件
ながらスマホ	46件	安全ルート	6件	違反時取り上げ	1件	迷惑かけない	1件
イヤフォン	44件	並走	6件	雨天注意	1件	横切り	1件
ルール順守	35件	事故後対処	4件	横断注意	1件	よそ見	1件
スピード注意	32件	事故後対処	4件	横断歩道利用	1件	レインコート	1件
一時停止	26件	事故後対処	4件	大回りしない	1件	脇道注意	1件
夜間ライト	24件	事故後対処	4件	鍵かけ	1件	悪ふざけ禁止	1件
急がない	23件	雨天中止	3件	傘さし	1件		
左側通行	20件	飛び出し	3件	帰宅前連絡	1件		
左側通行	20件	夜間注意	3件	自転車危険性	1件		
安全運転	14件	雨天送迎	2件	天候注意	1件		
車注意	13件	危険時下車	2件	道路通行方法	1件		
道路注意	10件	車間距離	2件	友達に注意	1件		
歩行者注意	9件	細道	2件	荷物をリュック	1件		
危険意識	8件	夜間乗らない	2件	罰金	1件		
点検	7件	青信号注意	1件	歩道走行	1件		

お子さんと決めた自転車の安全利用ルールについて、記述のあった内容を要素化して、件数毎に整理しています。
(件数別降順)

回答結果(保護者)

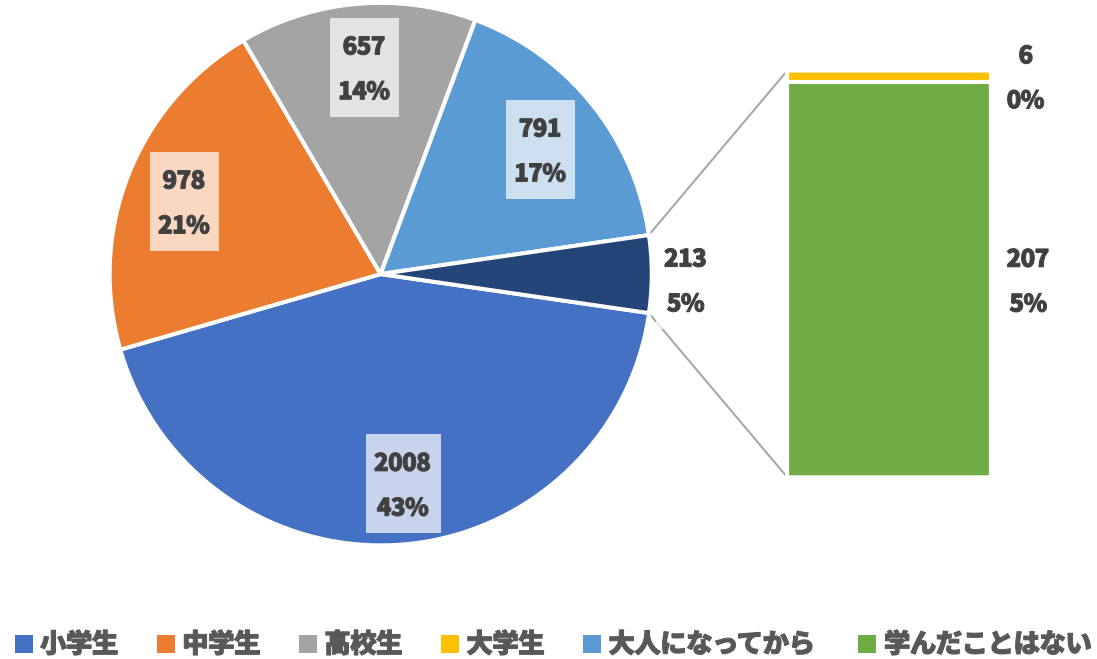
お子さんに自転車の交通ルールを教えるのに最も好ましい場所／方法はどれですか



お子さんに自転車の交通ルールを教えるのに最も好ましい場所・方法を尋ねたところ、上記の通りとなりました。学校の授業が3150件68%と最も多く、次点で自宅で家族と会話が1212件26%となっています。

回答結果(保護者)

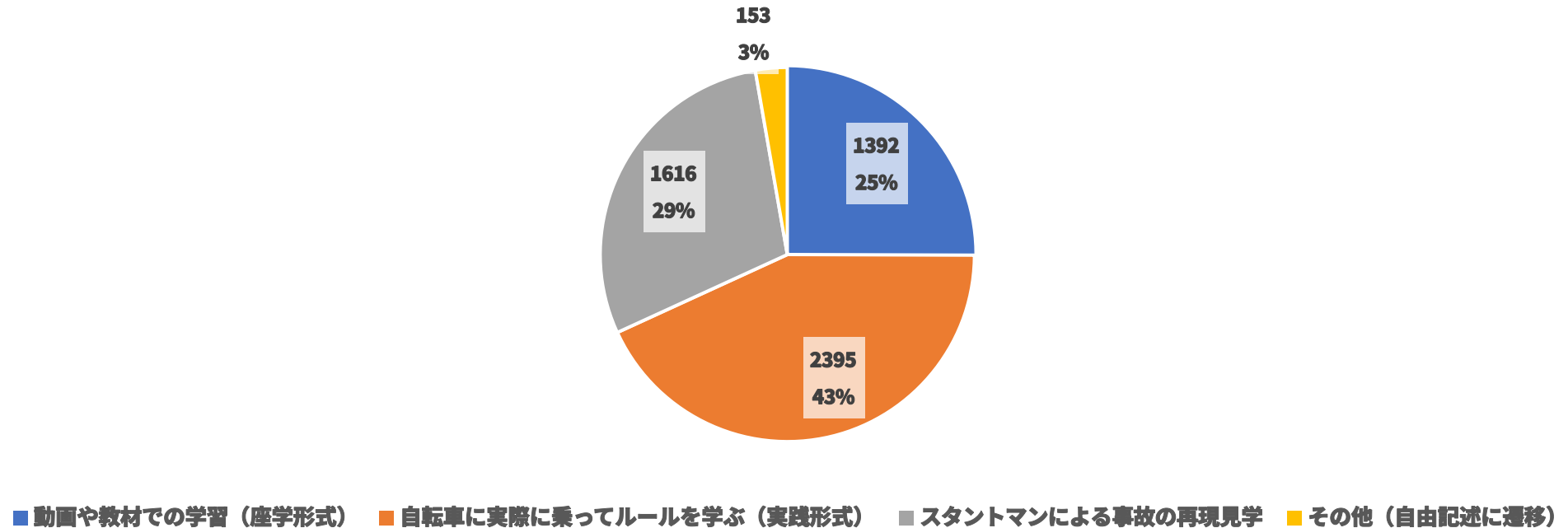
自転車の交通ルールを最後に学んだのはいつですか



自転車の交通ルールを最後に学んだ時期を尋ねたところ、上記の通りとなりました。小学生の授業が2008件43%と最も多く、中学生978件、大人791件が続いています。

回答結果(保護者)

自転車の交通ルールを学んだ内容で印象に残っているものは何ですか
当てはまるものをすべて選んでください



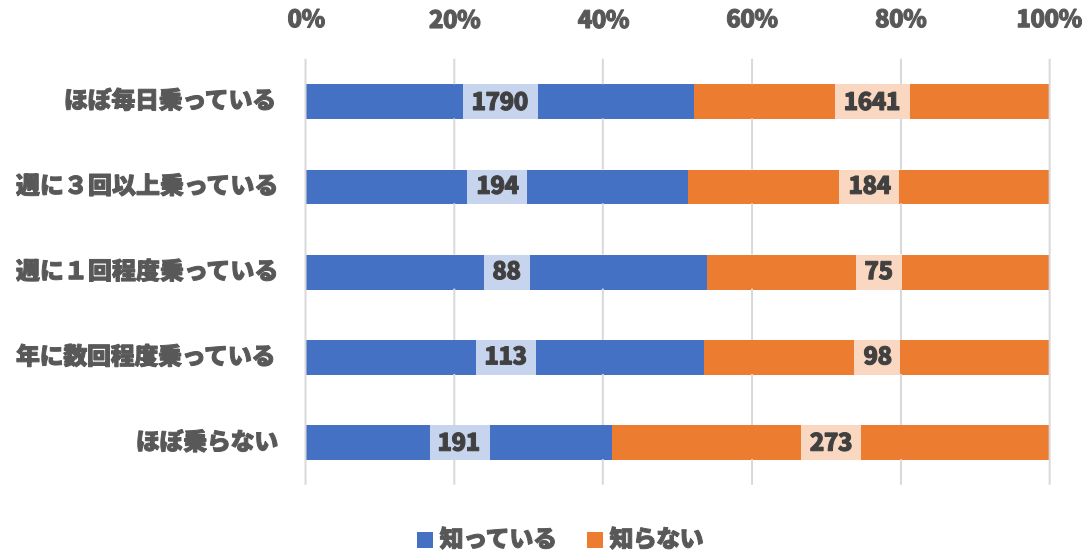
交通ルールを学んだ内容で印象に残っているものを尋ねたところ、上記の通りとなりました。
自転車に実際に乗ってルールを学ぶ(実践形式)が2395件43%と最も多く、
スタントマンによる再現が1616件29%、動画や教材での学習(座学形式)が1392件25%と続いています。

06

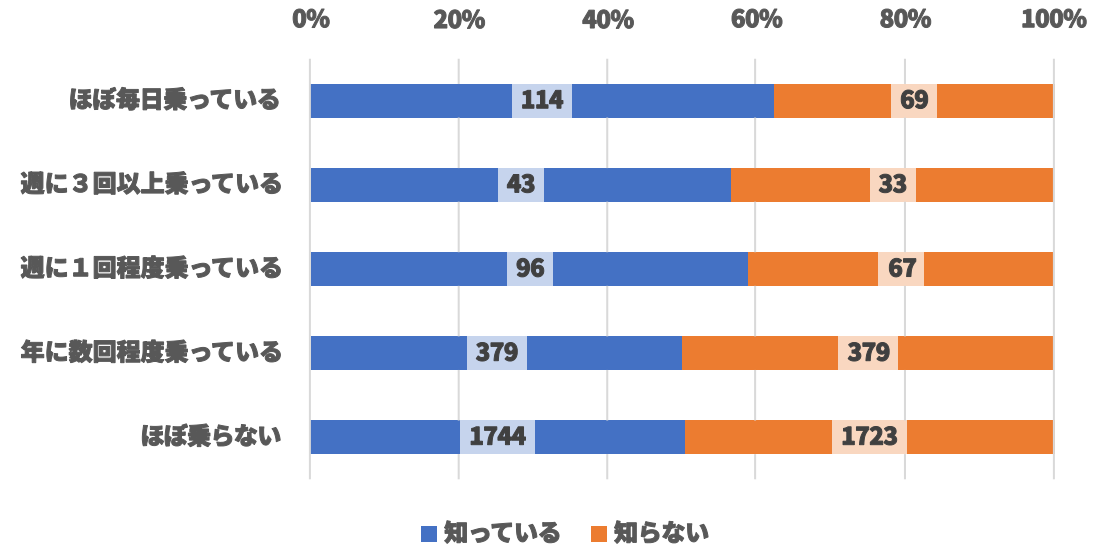
回答分析（保護者）

回答分析（保護者）

子供頻度×青切符



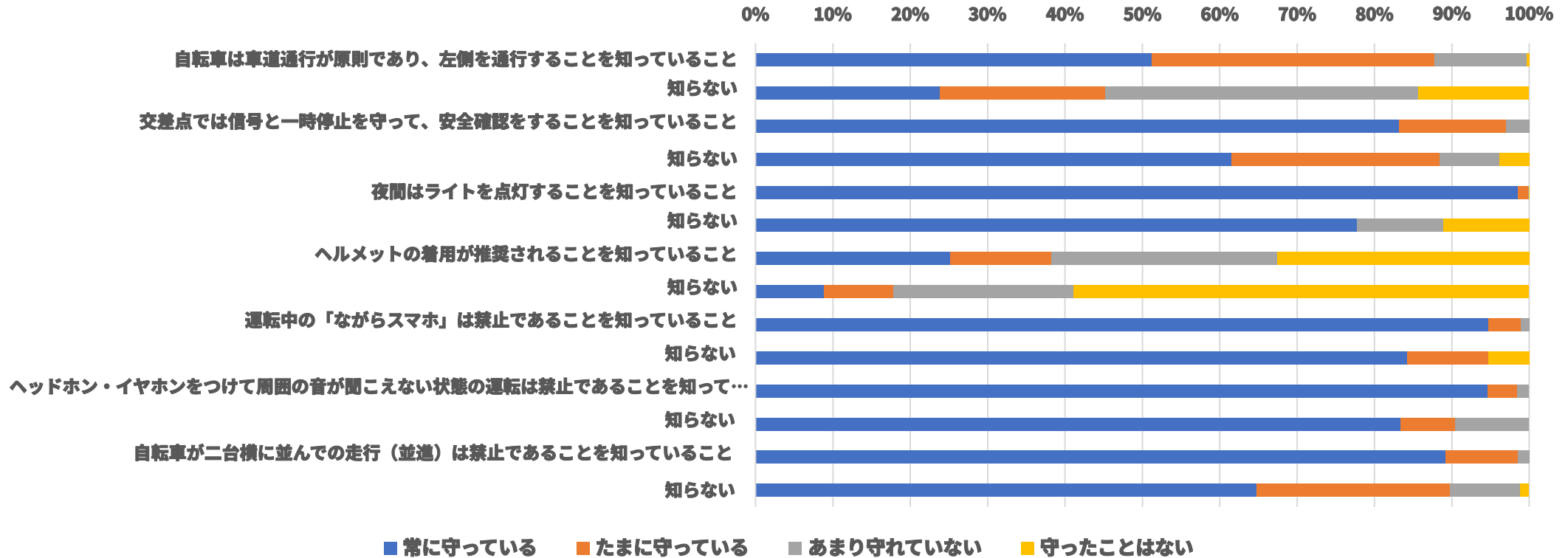
自身頻度×青切符



子供と自身の自転車の利用頻度別にと青切符の認知状況を整理したところ上記の通りとなりました。子供の利用頻度については、ほぼ乗らない場合のみ割合が低下し、自身の利用頻度については、年に数回程度の時点では割合が低下しています。全般的に何らかの形で自転車を利用している人については傾向に違いは見られませんでした。

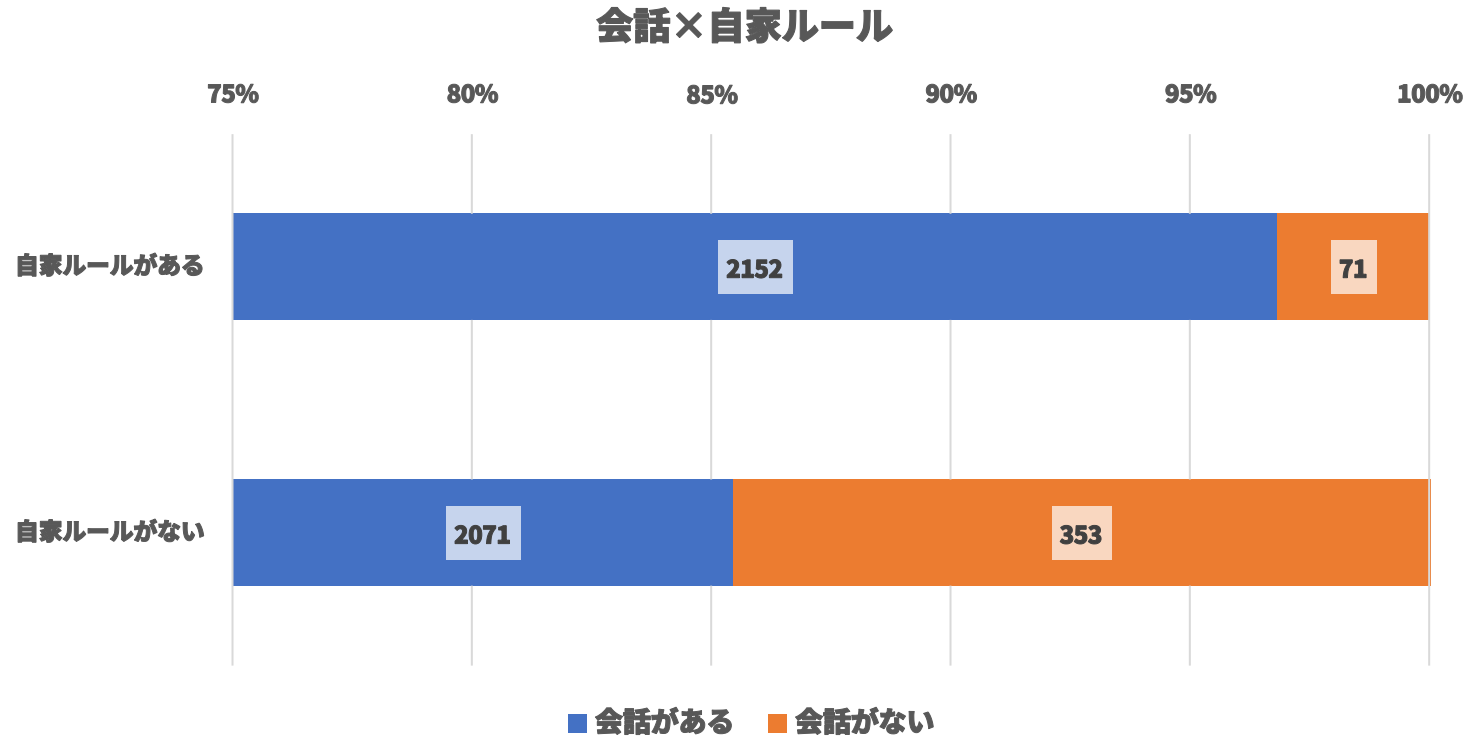
回答分析（保護者）

ルール×遵守



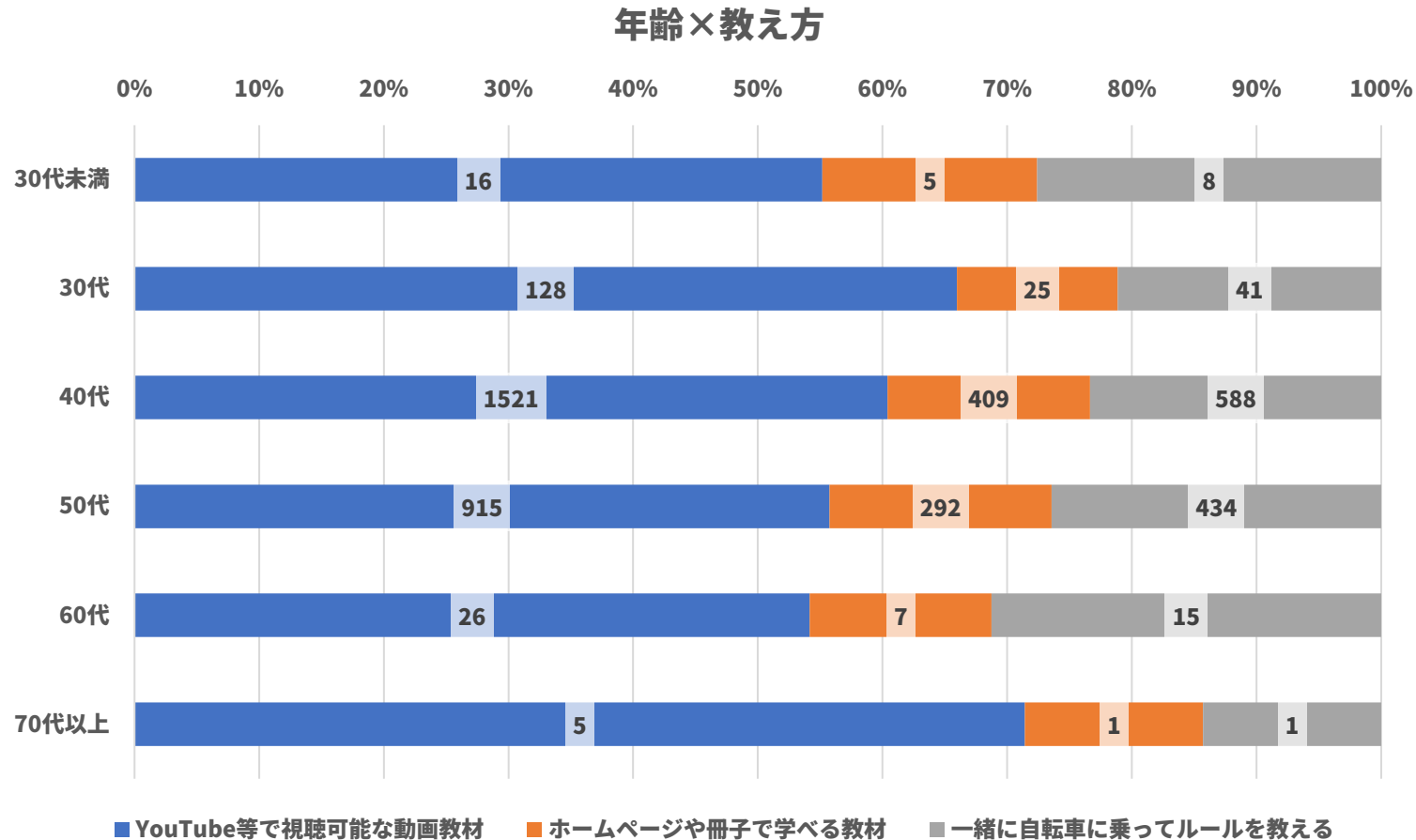
ルールの認知状況と遵守状況については上記の通りとなりました。
 自転車の車道通行・左側通行、ヘルメット着用ともに認知の有無により、守る割合が半減しています。
 その他ルールについては認知を問わず守る傾向がみられました。

▼ 回答分析（保護者）



子供の会話の有無と家族で決めたルールの有無について整理したところ上記の通りとなりました。
自家ルールがあるご家庭は、自家ルールがない家庭よりも家での会話がある傾向が可視化されています。

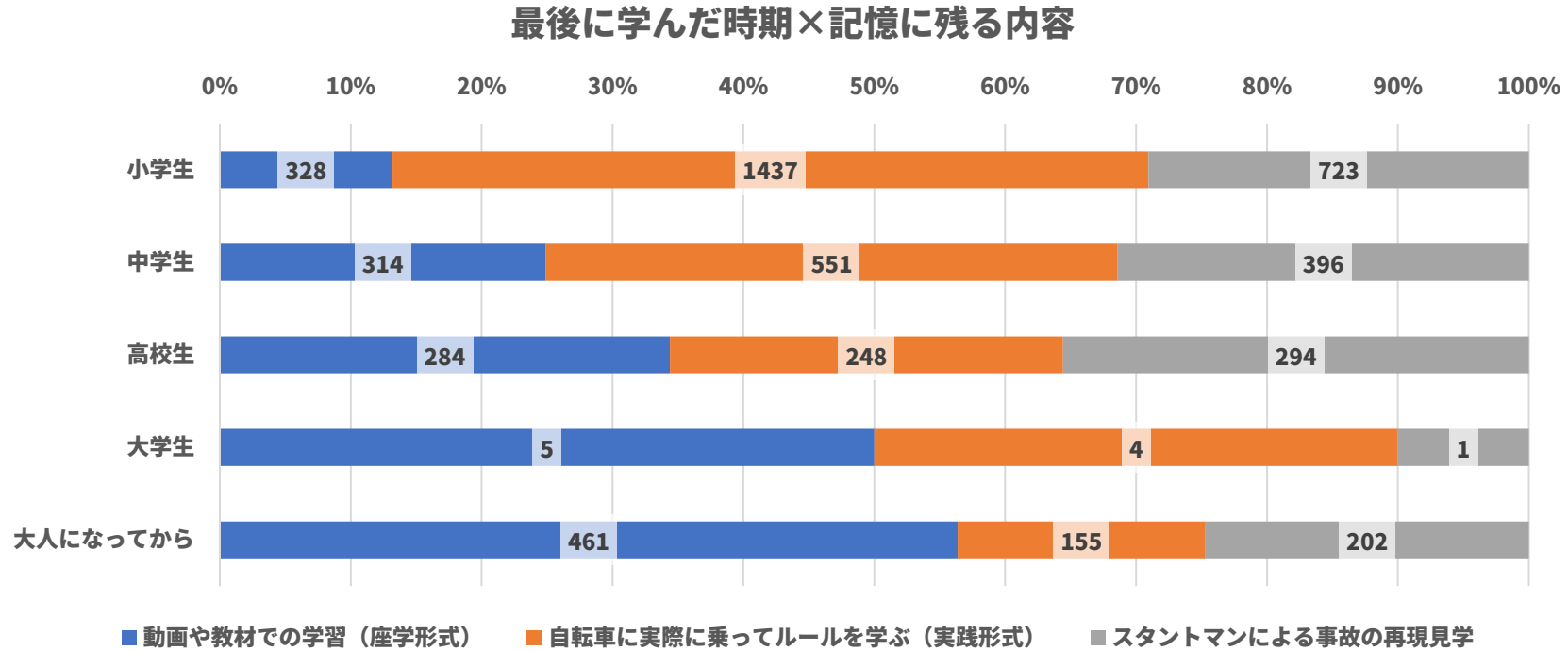
回答分析（保護者）



教え方について、保護者の年齢について整理したところ、上記の通りとなりました。

年齢問わず教え方については動画教材>一緒に自転車に乗る>ホームページや冊子教材の順となっています。

回答分析（保護者）



最後に学んだ時期について、記憶に残った内容を整理したところ、上記の通りとなりました。

小学生、中学生については実践形式>スタントマンによる再現>座学形式ですが、

高校生ではスタントマン>座学形式>実践形式、大人では座学形式>スタントマン>実践形式と違う結果になっています。